平成 28 年度

国文学研究資料館外部評価報告書

2017 年 3 月

国文学研究資料館

1. まとめ

国文学研究資料館外部評価委員会
委員長　湯浅　茂雄

外部評価委員会においては、評価委員会から付託された「平成２８年度外部評価のテーマ」に基づき評価を行った。具体的には、第一の柱としては、公開データベース（主に電子情報事業）に関して、観点１（事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか)、観点２（利用者の要望に応えているか)、観点３（リポジトリの運用が適切に行われているか）から評価を行い、また第二の柱としては、情報サービス事業に関して、観点１（事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか)、観点２（利用者の要望に応えているか)、観点３（資料の受入・保存が適切に行われているか）から評価を行った。委員会では、平成２７年度における各事業、各観点に関する詳細な資料やデータの提供を受けた上で、細かな質疑応答を行なった。その結果、追加の資料提供も行われた。また、資料の受入・保存に関しては収蔵庫の見学も行った。最終の委員会で、各委員からの評価の突き合わせも完了したので、以下に、そのまとめを掲げるものである。

公開データベースの観点１に関しては、①事業部の構成、委員会等の運営体制はその事業内容に照らして、適切に運営・管理がなされていると評価できる。また公開データベースに関しては、電子情報事業計画基本事項、同調整、電子事業計画に係る評価等を任務とする電子情報委員会（外部委員５名を含む 16 名構成）が設置されていることも評価できる。
②データの更新等、管理体制についても、データの更新が着実に行われており、特に第９期情報システム移行によって、画像表示の高速化が行われた点は高く評価できる。

公開データベースの観点２に関しては、平成 27 年度において、図書・雑誌所蔵目録(OPAC)、国文学論文目録 DB、日本古典籍総合目録 DB をはじめとする 35 種のデータベースを公開・運用して、利用者の要望に応えるものとなっている。また、国内だけでなく、海外からの利用が広がっている点も評価できる。また、Web ページのデザインの変更を適宜行なっているほか、Web トップページサーバ及び DSN サーバへの IPv6 アクセスを可能にしたことも評価できる点である。

公開データベースの観点３に関しては、リポジトリへの笠間索引叢刊の追加や、紀要「文学研究篇」への英文要旨の付与など、国内外に向け利便性を考慮したことは高く評価できる。これらリポジトリの運用は平成 26 年 11 月 14 日制定の「国文学研究資料館学術情報リポジトリ運用指針」に沿って、電子情報事業部がその管理・運用にあったっており、適切に行われている。

情報資料サービス事業の観点１については、事業部の構成、委員会等の運営体制は、事業内容に照らして適切なものとなっていると評価できる。また、情報サービス事業に関しては、図

書館事業の基本事項、同計画の調整、同管理及び利用、評価等を任務とする図書館事業委員会（外部委員５名を含む 14 名構成）が設置されていることも評価できる。

情報資料サービス事業の観点２については、①閲覧・複写サービスについて関して、複写サービスが減少傾向にあるのは、データベースの充実に起因するものであろう。これに対して、学生・大学院生・大学教員等の利用層における土曜日利用へのサービス強化・工夫は求められよう。②利用者からの質問への対応状況については、一般利用者を含めて、きめ細かく対応しており、適切に利用者からの質問に対応している。

情報資料サービス事業の観点３については、規程に基づく図書資料委員会において、当館所蔵資料全体を見渡した上で、日本文学及び歴史分野の研究書や雑誌、古典籍原本の収集を計画的に行なっており、資料の受け入れが適切に行なわれていると評価できる。資料の保存環境については、原型を尊重した保存措置を継続的に行なっている。史料目録刊行済のものについては、閲覧ラベル貼付、中性紙封筒・帙・等への収納、状態調査記録の作成、虫損・剥離箇所の部分修復処置など多岐にわたる。新規受入資料については、自動調湿窒素発生装置及び脱酸素剤を使用した殺虫処理を行なった。平成 27 年度は自動調湿窒素発生装置の増強も行なっている。また、虫損が甚だしい資料には補修を行なっている。平成 27 年度には高乗勲文庫の『年中行事鈔』ほか３点９冊の補修を行なった。以上のように資料の保存環境についても、多岐に渡り、出来る限りの資料保全が図られていると判断される。

以上、平成２８年度の外部評価のまとめとする。

2.各委員からの評価について

（１）公開データベース（主に電子情報事業）に関すること

観点１　事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか。

・事業部の構成、委員会等の運営体制について

・データの更新等、管理体制について

【小森委員】

・電子情報事業部会の定期的な開催によって、電子情報事業の審議や立案、事業の進捗状況の把握などを行っており、その管理・運営体制は評価することができるが、その会議での審議がどのような形で運営に反映されているのかを明らかにしておく必要はあろうと思われる。

・現在運用されている第９期の情報システム移行にあたり、外部の専門家を交え、システムの仕様策定委員会や技術審査委員会を設け、よりよいシステムの構築を模索しており、こうした運営方法や、組織のあり方は評価できる。但し、システム移行にあたり応札業者が一社のみであることは、システムの特殊性を考慮しても、今後の経済的な状況から、より汎用性をもたせコストカットにつながるシステム構築も模索すべきかと思われる。

・データの更新については、適宜バックアップを行いながら、適切に運用しており評価できる。

・また、第９期情報システム移行にあたり効率化を図るため、従来の 32 タイトルから 29 タイトルに集約化するなど、利用者の利便性を図る努力をしている。

【濱口委員】

電子情報事業部は、企画調整担当の副館長が統括する情報事業センターの下にあって公開データベースの運営を担当し、その構成は教授が兼ねる部長と副部長を含む教員 10 名からなり、「国文学研究資料館情報事業センター組織規程」によって設置された部会を毎月定期的に開催して事業全体の進捗状況の把握と評価、事業の実施に関する事項について審議、立案を行っている。事業部に対して「研究・教育及び事業の成果に関する電子情報事業の適切な運用を図るため」に電子情報委員会が置かれ、委員会規程では「館内職員のうち館長が指名する者」及び「学識経験者のうちから館長が委嘱する者」から組織され、現委員会は専門学識を有する外部委嘱の研究者５名を含む 15 名からなり、年度末にその年度の事業活動報告について審議している。なお事務管理は学術情報係とシステム管理係が担当している。

データの更新等、管理体制については、係長を含む７名の学術情報係が各種 DB の維持、管理、公開、運用等の実務を担当し、平成 25～27 年度は「国文学論文目録 DB」「日本古典籍総合目録 DB」「統合古典籍総合目録 DB」をはじめとした多くの DB に対するシステム開発、変更、大幅なコンテンツ追加を実施している。

公開データベースに関する電子情報事業は、事業部の構成や委員会の体制が効果的に機能し、かつ適切に運営されており、事業内容に見合った実施体制となっていると評価できる。

【村田委員】

①事業部の構成、委員会等の運営体制について

公開データベースを維持管理するためにマンパワーが必要なことは周知の事実であり、この点に鑑みて、８名の教員からなる組織はデータベースの質を保持する観点から、十分だと考える。また、ほぼ毎月電子情報事業部会が開催され、種々の問題について議論する機会が持たれていることも、高く評価できる。ただし、新たなデータベースの立ち上げを視野に入れた場合は、更なるマンパワーの注入が必要になることは確実である。データベース自体がこれまでのような検索項目に依存するものではなく、タグ付けされた全テキスト検索を目指すものに変質して行くと考えられるため、そうした方面に強い人材補強が必要になるだろう。

②データの更新等、管理体制について

データの更新は着実に行われており、第９期情報システム移行によって、画像表示の高速化が行われた点は評価できる。また、管理体制も堅実であり、このまま安定して運用可能であると判断する。データのバックアップについても定期的に行われているが、分散型データ保守を考慮すると、そろそろクラウドを利用したバックアップも考える時期に来ていると感じた。

【湯浅委員】

国文学研究資料館の研究及び事業の成果を電子情報として提供し、情報システムの有効・適切な運用を図るとともに、内外の機関との連携を進めるという事業内容に対応すべく、情報事業センター電子情報事業部が設置されている。事業部は電子事業部長、同副部長を置き、他に８名（部長・副部長を含め、教授２名、准教授７名、助教１名）の教員の体制で事業を運営し、管理部学術情報課学術情報係（係長を含む７名)、システム管理係が事務を担当している。ほぼ毎月部会を開催し、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、電子情報事業に関わる種々の事柄について審議、立案を行なわれている点から、事業部の構成、委員会の運営体制は事業内容に照らして適切であると判断される。また公開データベースに関しては、電子情報事業計画基本事項、同調整、電子事業計画に係る評価等を任務とする電子情報委員会（外部委員５名を含む 16 名構成）が設置されていることも評価できる。

研究部及び事業部が作成するデータベースと関連システムは緊密に連携・協力が行われており、また図書・雑誌所蔵目録（OPAC を含むデータベース）は年間を通じて安定的な稼働が行われた。また平成 28 年２月の行われた第９期情報システムの移行により、32 タイトルから 29 タイトルへのデータベース再編や、画像表示高速化などを実施するとともに、データベースごとに適宜データの追加更新を行った。また、これらの情報資源の定期的なバックアップを行い、不測の事態に備える十分な体制を維持してきた。これらから、データの更新等の管理体制も適切である判断される。

【山中委員】

・事業部の構成は、教授・准教授・助教のバランスがとれている。管理部の人員は、平成 27 年度、再任用職員の短時間勤務とはいえ１名増えており、今後ますます重要性の高まる公開データベースに関わる体制として、的確な処置と思われる。電子情報委員会には情報学系の機関から外部委員が複数入っており事業内容にふさわしい体制といえる。
・画像データの新規公開、検索機能の強化等、利用者の要望に添った改善が継続的におこなわれている

と同時に、データ編集機能など、各データベースの作成効率をアップさせるためのシステム開発や改善にも積極的に取り組んでいる点が評価できる。

観点２　利用者の要望に応えているか。

・データベース事業の推進について

【小森委員】

・現在、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を策定・実施しており、このネットワーク構築は同館にとって最も重要なデータベースに位置づけられる。今後は、このデータベースの構築にむけ、全館あげての推進が望まれる。また、このデータベースの完成・公開は、人文科学にとどまらない学際的な恩恵と研究の進展をもたらすものと考えられ、多大な困難は伴うと思われるが、計画通りの完成・公開を期待するところである。

・以上のデータベースの構築は、当面同館にとって最大の重要課題ではあるが、今後の中・長期的な展望を見据え、利用者の要望を把握しつつ、データベース計画の立案・策定も同時並行的に行うべきことと思われる。

【濱口委員】

資料館の DB 公開は HP「電子資料館」で行われているが、その利用者サービスの向上のために HP のデザインを工夫するなどの変更を不断に行っている。現在公開している「図書・雑誌所蔵目録」「国文学論文目録 DB」「日本古典籍総合目録 DB」を始めとする 31 タイトルの DB についても、28 年度には、「日本古典籍総合目録 DB」「所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録 DB」「和刻本漢籍総合 DB」のシステム統合を行い、また「所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録 DB」は「館蔵和古書目録 DB」に改称するなど、常に利用者の便宜を図る視点から DB の更新と関連システムの保存や運用管理を行っている。さらに人間文化研究機構・統合検索システムである nihuINT に参加して、データベース事業の共同利用を積極的に推進している。

特記すべきは、電子情報事業部に属する教員による科学研究費助成「研究成果データベース」の獲得が、27 年度は３件 1,030 万円、28 年度は５件 1,970 万円であり、データベース事業を外部資金の獲得の方面からも積極的に推進していることである。

DB の利用状況は、国内外に亘り平成 25～27 年度の３ヶ年度の平均アクセス数が、「図書・雑誌所蔵目録」 は 86 万件、「国文学論文目録 DB」は 71 万件、「日本古典籍総合目録 DB」は 57 万件と膨大な数値となっている。

以上の状況からして、データベース事業は利用者の要望に十分に応える内実を以て適切に運営されていると評価できる。

【村田委員】

①データベース事業の推進について

これまで遅いといわれていた画像表示の高速化が実現し、ユーザーフレンドリーなデータベース利用が可能になり、ユーザーインターフェイス部分は大きく改善された。また、インターネットと各大学におけるリポジトリの普及はめざましいものがあり、個別のデータベースの利用が減少傾向にある中

で、データベースの検索数が増えているのは特筆に値する。この点は国文学研究資料館が日本文学研究のポータルとしての機能を十分に果たしていることとの証しであろう。

また、国外からのアクセスも数多くあり、グローバルな日本文学研究に資していることは間違いない。さらに、これから不足すると考えられている IPv4 の IP Address の後継に当たる、IPv6 に既にシステムレベルで対応しており、後顧の憂いのない点において、将来を見据えた事業が推進されている。これから、データベース推進事業は、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の展開とともに、あらたなフェイズを迎える。今後、どのように連携してゆくかについての立案が今後の課題となるだろう。

【湯浅委員】

平成 27 年度において、図書・雑誌所蔵目録(OPAC)、国文学論文目録 DB、日本古典籍総合目録 DB をはじめとする 35 種のデータベースを公開・運用している。これらについて年間の利用アクセス件数が分析されている。このデータは今後の各データベースの利用者サービスの向上に資するものとなろう。国別のアクセス数も調査しており、国外では中国、大韓民国、アメリカ、台湾他 50 カ国に及ぶ地域から利用されていることも評価できよう。

また、Web ページのデザインの変更を適宜行なっているほか、Web トップページサーバ及び DNS サーバへの IPv6 アクセスを可能にしたことも評価できる点である。データベース利用者の要望に応えるものとなっている。

【山中委員】

研究上重要かつきわめて有益なデータベースが次々に公開され、アクセス数からも、利用者の要望に沿ったものであることがわかる。一例を挙げれば、蔵書印 DB は、研究者の間でも評価の高い DB の一つである。

国内だけでなく、海外からの利用が広がっている点も評価される。アクセス数とは別に、国文論文目録 DB、近代書誌・近代画像 DB などでは、利用者のいる国の数が大幅に増えていることも注目に値し、データベースの信頼性や価値が海外の研究者にも広まっていることが伺われる。

観点３　リポジトリの運用が適切に行われているか。

【小森委員】

・リポジトリへの笠間索引叢刊の追加や、紀要「文学研究篇」への英文要旨の付与など、国内外に向け利便性を考慮したコンテンツ作りを模索しており、高く評価できる。
・笠間索引叢刊など索引類の公開は、研究の進展に資すると考えられ、新たな索引類の追加など、利用者の利便性や研究の進展に寄与する充実したコンテンツの計画も期待される。

【濱口委員】

国文学研究資料館平成 27 年度計画において「（３）共同利用の基盤整備等共同利用の推進に関する目標を達成するための措置」 の「４）本館の研究及び事業の成果の共同利用を推進するため、JAIRO Cloud を利用した機関リポジトリを構築し、紀要論文、報告書等の学術成果を公開し、共同利用に供する。」及び「（５）研究成果の発信と社会貢献に関する目標を達成するための措置」の「７）本館の研究及び事業の成果の共同利用を推進するため、JAIRO Cloud を利用した機関リポジトリを構築し、紀要論文、報告書等の学術成果を広く発信する。」と明記されていたが、27 年度から国立情報学研究所の JAIRO Cloud サービスを利用してリポジトリの公開を行い、その登録対象も資料館で作成された刊行物の他、笠間索引叢書などの追加を行い、また国文学研究資料館紀要(文学研究編)の全てに英文要旨を付けるなど充実に努めている。また HP に「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」のバナーが置かれ、直ちにリポジトリページに入ることができるようになっており、27 年度の公開に伴い年度後半には平均３万件台のアクセスがあった。

リポジトリは年度計画通りに着実に遂行されており、「国文学研究資料館学術情報リポジトリ運用指針」の下で適切に運用されていると評価できる。

【村田委員】

全体としては、英文の要約の付与など、グローバル化に対応した構成になっており、リポジトリとして極めて丁寧な作りと判断できる。また、『笠間索引叢刊』のリポジトリ化も進んでおり、これまで書物がなければ簡単に検索できなかった様々な作品の索引の入手が容易になりつつあることは、日本文学研究の発展への大きな貢献であることは間違いない。しかし、現時点では、単なる索引の PDF のダウンロードという形式でしかなく、これを本格的な検索システムに昇華できれば、素晴らしいものになると考える。

また、現在、遡及入力中ということでもあり、やむを得ない面があるものの、これまでの研究成果の集合体である研究紀要等の PDF 化によるリポジトリでの公開は、PDF 化が以前よりも遥かに容易になっていることもあり、一日も早い完成が望まれる。今後の遡及入力についていえば、難しいかもしれないが、ePub 形式での公開も考えてみてはどうだろうか。

なお、現在、HP のトップページにあるリポジトリのバナーが下の方にあり、分かりにくい構成になっている。今後、リポジトリはデータベースと並び、国文学研究資料館のネットワーク機能の中心となるはずであり、この点は改善すべきものと思われる。

【湯浅委員】

「国文学研究資料館学術情報レポジトリ」は平成 26 年度から構築を開始し、平成 27 年４月１日から公開が始まり、241,618 件のアクセスがあった。構築には国立情報学研究所(NII)の JAIRO Cloud サービスを利用するものである。

内容は紀要（文学研究編・アーカイブ研究編・史料館研究紀要)、調査研究報告（笠間索引叢刊)、学術資料（国文研ニューズ)、その他（国文学研究史料館報・史料館報・アーカイブズニューズレター・年報・記念誌・展示図録）にわたる 1,084 件である。

公開が始まった平成 27 年４月のアクセス件数 7,700 であったが、月を追う毎にアクセスが増加し、

年度末の３月には 34,400 件に至った。
　これらリポジトリの運用は平成 26 年 11 月 14 日制定の「国文学研究史料館学術情報リポジトリ運用指針」に沿って、電子情報事業部がその管理・運用にあったっており、適切に行われている。

【山中委員】

　「国文学研究資料館学術情報リポジトリ運用指針」に基づき、著作権等にも十分配慮した運用がおこなわれている。

（２）情報資料サービス事業に関すること

観点１　事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか。

・事業部の構成、委員会等の運営体制について

【小森委員】

・平成 27 年度の情報資料サービス事業部は、構成員の増員を行っており、この分野のサービス強化を図っていることは評価できる。また、定期的に事業部の会議を開催し、関連する委員会との連携などを行い、協力して事業を推進していることは評価できる。とかく委員会は縦割り的となりやすいので、関係委員会との連携は、是非今後も推進していただきたい。
・事業部の増員が、サービス向上にどのように貢献していくのかという具体的な目標は、明確化しておく必要があろうと思われる。

【濱口委員】

　情報資料サービス事業部は、企画調整担当の副館長が統括する情報事業センターの下にあって情報資料サービスの運営を担当し、その構成は教授が兼ねる部長を含む教員６名からなり、図書資料の受入れ・収集や貴重書指定を審議する図書資料委員会とも連携しつつ、「国文学研究資料館情報事業センター組織規程」によって設置された部会を毎月定期的に開催して事業全体の進捗状況の把握と評価を行っている。この事業部に対して「図書館事業を推進するため」に情報資料サービス委員会が置かれ、委員会規程では「館内職員のうち館長が指名する者」及び「学識経験者のうちから館長が委嘱する者」から組織され、現委員会は専門学識を有する外部委嘱の専門家５名を含む 14 名からなり、年度末にその年度の事業報告・評価、次年度の事業計画を審議している。
　情報資料サービスの管理体制は、係長を含む９名の図書情報係が図書資料の選定、契約、受入、登録、整理、目録作成、図書館システムの運用・管理など、係長を含む８名の情報サービス第１係が閲覧業務、文献複写、所蔵資料の保存と管理、レファレンスなど、３名の情報サービス第２係がアーカイブズ関連の保存や選定、整理などの実務を担当している。
　情報資料サービス事業部の構成、委員会等の運営体制は情報資料サービス事業が適切に運営される上で見合ったものとなっていると評価できる。

【村田委員】

①事業部の構成、委員会等の運営体制について
　平成 27 年度から教授が１名増え、合計６名の教員によって構成された体制のもと、情報資料サービス事業部会が毎月開催され、情報資料サービス事業についての十分なフィードバックと立案ができていると思量する。

【湯浅委員】

　図書・資料の受入、整理・保管、閲覧サービス等に関する業務を行うとともに、情報事業センター内の他部と連携して電子資料館システムを推進する事業内容に対応すべく、情報資料サービス事業部が設置されている。事業部は部長を置き、他６名の教員の体制（教授３名、准教授２名、助教１名）で事業を運営し、図書情報係が事務を担当している。ほぼ毎月部会を開催し、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、図書資料委員会等の関連する委員会と連携して事業を推進しているなど、事業部の構成、委員会の運営体制は事業内容に照らして適切であると判断される。
　また、情報サービス事業に関しては、図書館事業の基本事項、同計画の調整、同管理及び利用、評価等を任務とする図書館事業委員会（外部委員５名を含む 14 名構成）が設置されていることも評価できる。

【山中委員】

・事業部の構成は、教授・准教授・助教のバランスがとれている。委員会の外部委員には図書館事業に見識を持つ委員が配置され実施体制に見合った構成となっている。

観点２　利用者の要望に応えているか。
・閲覧・複写サービスについて
・利用者からの質問への対応状況について

【小森委員】

・インターネットを利用したデータペースの充実により来館閲覧者が減少している傾向にあるが、これは同館のデータベース公開がプラスに作用しているあらわれであると思われる。
・来館者の土曜日に占める割合が増加傾向にあるのは、来館者が、平日より土曜日の利用を希求しているためで、利用者側に立てば土曜日の開館をより充実させるべきである。土曜日開館の人的・予算的措置については、解決すべき問題も多々あろうと思われるが、こうした傾向を真摯に受け止め、館運営の改善を図っていくべきである。
・同様に展示施設の開室期日等についても、利用者や地域住民の意見をより積極的に取り入れて改善を図り、同館の役割についての啓蒙に努めるべきである。
・遠隔地からの図書館相互協力による複写依頼が増加している傾向は、資料の共同利用に貢献しているあらわれと評価できるので、今後はより簡便な方法や短期間での資料提供など、より一層のサービス向上に努めていただきたい。
・毎年、閲覧者や外部からの 2,000 件に近い様々な問い合わせについて、そのつど真摯に対応しており、その対応は高く評価できる。問い合わせも千差万別ではあるが、重複する事項もあろうかと思わ

れるので、質問内容や回答例をデータとして蓄積し、キーワードで検索できるなどの方法も検討し、効率化を図るべきかと思われる。

【濱口委員】

閲覧サービスにおいて、来館利用者の構成は、平成25～27年度の３ヶ年度の平均は約７千名であり、大学共同研究機関である立場からして当然のことながら、大学生、大学院生、大学教員が過半を占めている。また利用日の平日と土曜日との比較では、大学等での長期休暇月以外は「土曜日のほうが多く、土曜日の利用者サービス強化が求められている」とされるが、これは利用者の構成からすれば、大学の休日に当たる土曜日の来館が多くなるのは必然であり、土曜日開館自体が何よりも利用者への便宜を図った対応といえる。望蜀の念を募らせれば、日曜日開館も先々の課題となればとの思いがある。また複写サービスにおいて、館内のみならず図書館間の相互利用制度や郵送又はFAXによって遠隔地の利用者にも複写サービスを行い、平成25～27年度の３ヶ年度の文献複写件数の平均は約28千件にもなっている。

利用者からの質問への対応については、レファレンスサービスとして「近代以前の国文学・歴史資料の調査研究・収集・整理・保存に関しての質問を、文書・FAX・メールで受け付けています」と明示し、閲覧カウンターでの直接の質問も含め、平成25～27年度の３ヶ年度は平均２千件弱の問い合わせがあり、利用者の要望に応えた丁寧な対応がなされている。

これらの図書館におけるサービスの「利用案内」は、HPや「国文学研究資料館概要」に詳細に示されており、また「国文研ニューズ」の裏表紙に「閲覧室カレンダー」が掲載され、広報も一定程度浸透していて利用者の要望に十分に応えているものと評価できる。

【村田委員】

①閲覧・複写サービスについて

複写サービスは減少傾向にあるが、これは各大学のリポジトリ整備によるインターネット経由のダウンロードが急激に増えたことに起因すると思われ、大きな問題とは思えない。それよりも、土曜日の利用者が多いという点に鑑みると、日曜日の試験的な開館をロードマップに組み込むことは考えた方がよいかもしれない。ただし、日曜日の開館は館員の負担増と裏表であり、慎重に議論を進める必要がある。

②利用者からの質問への対応状況について

一般利用者を含めて、質問への丁寧な対応がなされている。一般利用者からの質問は、本来業務とはいいがたい面を含み持つが、日本文学研究の裾野の開拓には有益であると感じた。また、多岐に渡る質問の中で、その年の大河ドラマに関わるものが多いようなので、それようにFAQを作ることを検討すると質問への対応の負荷が提言されるかもしれない。

一方、専門家からの質問については、大きな問題もなく十分な質が保たれていると考える。

【湯浅委員】

閲覧・複写サービスについては、平成27年度の開館日数は249日、新規登録者は1,059人、来館利用者数は6,439人である。来館利用者数は平成25年度が7,222人、平成26年度が7,460人であるので減少傾向にある。平成27年度の来館者のうち65%が学生・大学院生・大学教員が占めるが、近年これらの利用層は、大学の半期15週授業実施体制の中で、８～９月、２～３月以外は平日には外部研究機関に出向きにくい傾向にある。この点を考慮した上で、土曜日の利用者へのサービス強化・工夫が求められよう。

また、図書館相互協力による文献複写受付件数は近年、大幅に増加傾向にあり、NACSIS-ILLを通じた文献複写受付件数は人文系機関としては１位であることは、資料の共同利用に大きく貢献するものである。

利用者からの質問への対応状況については、平成27年度は文書による質問が31件、メールによる質問が272件、電話による質問が752件、閲覧カウンターでの質問が705件であった。きめ細かく対応しており、適切に利用者からの質問に対応している。

【山中委員】

・資料出納点数、特に和古書や紙焼き資料の館内での閲覧件数が減少しているのは、インターネットを利用しての種々のDB活用の結果で、自然な流れと考えられる。
・利用者からの質問への対応は非常に懇切丁寧で行き届いているが、質問の中には、自身でおこなうべき調査を無料で押しつけているかのように見えるものもあり、むしろ、質問に対応する基準や限度を決めておくほうがよいのではないかとも思われる。

観点３　資料の受入・保存が適切に行われているか。

・資料の受入について

・資料の保存環境について

【小森委員】

・同館の役割に鑑み、計画的な資料収集を行っており、今後も継続的に資料収集と公開を期待したい。
・古典籍資料の収集は、図書資料委員会により選定し、またその評価にあたって外部の評価委員の委任を行い、適切な購入や寄贈の受け入れを行っている。また、これらは早期に公開されている。
・年度予算で購入された古典籍資料などは、整理終了後一括してホームページ上でその価値などについ公知されれば、利用推進にも資するかと思われる。
・資料の保存環境については、専門家の意見を取り入れつつ、媒体にあわせた管理をきめ細かく行っており高く評価できる。
・また、古典籍資料についての適切な修復も実施するなど、資料保存に万全を期している。保管庫の災害時の非常電源などについても、適切な措置が講じられており、類縁機関での同様な取り組みのモデルケースとなる。

【濱口委員】

資料の受入については、「資料受贈の基準について」「人間文化研究機構国文学研究資料館貴重書及び特別コレクション指定要綱」「人間文化研究機構国文学研究資料館資料評価実施規程」「人間文化研究機構国文学研究資料館資料受託規程」等の明文化された要綱、規程が整備されている。それらの規程類に則して図書資料委員会において、図書、逐次刊行物、古文書、マイクロ資料、デジタル資料、視聴覚資料及びこれらの複製物等の図書資料の計画的な受入と収集を行っている。平成 25～27 年度においてマイクロフィルムは 3,855 点、写本・版本は 3,935 点、逐次刊行物は 5,492 点など、寄贈も含めての受入があり、このうち、30 点を貴重書、重要文化財 55 種を含む「山鹿文庫」及び「鉄心斎文庫」を特別コレクションに指定し、一般コレクションとしては林望旧蔵「古文真宝コレクション」「三体詩コレクション」が受入られた。また旧資料館所蔵図書に対して、労力と経費が過大に掛かるにもかかわらず、目録遡及事業も継続して実施され、ほぼ 68%がオンライン目録に登録され、直ちに利用に供されることになった。

資料の保存環境については、「原型を尊重した保存、修復」を旨として、新規受入資料については、まず自動調湿窒素発生装置等での殺虫処理を行い、受入済みの図書資料については、中性紙封筒・帙・箱等への収納や状態調査記録の作成をして保管し、多量の資料の一々にこうした処置が丁寧に施されている。また免震装置が施された保管施設である地下の書庫・収蔵庫を実地に見学した限りでも、温度や殊に湿度制御、害虫対策がなされ、永久保管のマイクロフィルムについては温度 18℃、湿度 25%に制御された保管庫で保存されている。まさに「平成 28 年度国文学研究資料館概要」の今西館長による「はじめに」に「館創設以来の国文学資料の調査・マイクロフィルム収集事業は、全国各地の調査員の協力を得てすでに 20 万点を超え、100 年、200 年後までの保存体制を確立しています」とあるように、遠い将来に亘る保存体制が整備、確立されている。

資料館が果たすべき膨大な資料の受入・保存の役割が適切に遂行されていると評価できる。

【村田委員】

①資料の受入について

資料の受け入れ制度は順調に運用されており、問題ない。ただ、新規資料の受け入れ予算の削減が続いており、館そのものの性格を考える時に、不安を覚える。科研費などを利用した教員の専門分野を中心とした収集は、教員の立場からすれば当然ではあるが、それは蔵書の偏りを産むことにもなってしまう。「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」との関係とは別に、館として受け入れる予算体制の整備が待たれる。

②資料の保存環境について

堅牢な耐震設備と、徹底した湿度管理に保護された保存環境は高い評価に値するものである。保存状況を実見したが、現システム下にあって非の打ち所のない管理態勢といってよいと感じた。ただし、温度管理については、温暖化の影響もあり、今後必要になる可能性は否めない。この点が解決されれば、日本が世界に誇ることのできる文化収蔵体となると考える。

【湯浅委員】

資料の受け入れについては、規程に基づく図書資料委員会において、当館所蔵資料全体を見渡した上で、日本文学及び歴史分野の研究書や雑誌、古典籍原本の収集を計画的に行なっており、資料の受け入れが適切に行なわれていると評価できる。収集した資料については、装備・目録作成を行い、一般の利用に供している。また、旧蔵資料についても目録遡及事業を継続的に行なっている。その結果、平成27年度においては図書資料85,000冊の内58,000冊がOPACで検索可能となった。

資料の保存環境については、原型を尊重した保存措置を継続的に行なっている。史料目録刊行済のものについては、閲覧ラベル貼付、中性紙封筒・帙・等への収納、状態調査記録の作成、虫損・剥離箇所の部分修復処置など多岐にわたる。

新規受入資料については。自動調湿室素発生装置及び脱酸素財を使用した殺虫処理を行なった。平成27 年度は自動調湿室素発生装置の増強も行なっている。また、虫損が甚だしい資料には補修を行なっている。平成27年度には高乗勲文庫の『年中行事鈔』ほか３点９冊の補修を行なった。

以上のように資料の保存環境についても、多岐に渡り、出来る限りの資料保全が図られていると判断される。

【山中委員】

・貴重書および特別コレクションについては「人間文化研究機構国文学研究資料館貴重書及特別コレクション指定要項」に基づき、図書資料委員会の審議を経ておこなわれている。図書資料委員会のメンバーは、豊富な専門知識をもった専任教員たちであり、適切な判断のもと、受け入れがおこなわれていると判断できる。
・永久保管用マイクロフィルムの保存には温度（18度）・湿度（25％）を制御する専用の保管庫を用いるいっぽう、書庫・収蔵庫については、閲覧室との温度差が及ぼす害に配慮して湿度のみの制御(50％)にとどめるなど、行き届いた配慮のもとで資料の保存がおこなわれている。害虫の監視も十分おこなわれている。

国文学研究資料館外部評価委員会

委員名簿

委員長	湯 浅　茂 雄	実践女子大学文学部教授
	小 森　正 明	宮内庁書陵部図書課図書調査官
	濱口　富士雄	群馬県立女子大学長
	村田　右富美	大阪府立大学人間社会学部教授
	山 中　玲 子	法政大学野上記念法政大学能楽研究所長

国文学研究資料館外部評価委員会

実施状況

○第１回外部評価委員会

日　時：平成２８年１１月　４日(金)１３：３０～１４：５０

議　事：

１　平成２８年度外部評価について

２　今後のスケジュールについて

○第２回外部評価委員会

日　時：平成２８年１２月１６日(金)１０：３０～１１：５０

議　事：

１　平成２８年度外部評価について

２　今後のスケジュールについて

○第３回外部評価委員会

日　時：平成２９年　２月　７日(火)１３：３０～１５：００

議　事：

１　平成２８年度外部評価について

平成２８年度外部評価のための基礎資料

人間文化研究機構国文学研究資料館

1　公開データベース（主に電子情報事業）に関すること

観点１　事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか。

①業部の構成、委員会等の運営体制について

電子情報事業部長を置き、同副部長他、８名の教員の体制により事業を運営し、学術情報係、システム管理係が事務を担当している。

ほぼ毎月電子情報事業部会を開き、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、電子情報事業に関わる種々の事項について審議、立案等を行った。

第９期情報システムへの移行を実施するための仕様策定委員会及び技術審査会を開催し、平成 27 年９月に開札、平成 28 年１月末日までに導入、２月１日から運用を開始している。

②データの更新等、管理体制について

データベースと関連システムの保存と運用管理を行っている。また、研究部及び事業部が作成するデータベースと関連システムは、緊密に連携・協力を行い、図書・雑誌所蔵目録(OPAC を含む各データベースについて、年間を通じて安定的な稼働を行った。

平成 28 年２月に行われた第９期情報システム移行により、運用の効率化のため、32 タイトルから 29 タイトルへのデータベース再編や画像表示高速化などを実施し、データベースごとに適宜データの追加更新を行っている。また、これら情報資源の定期的なバックアップを行い、不測の事態に対して十分な対応を行い、維持に努めた。

【業務実績報告書の関連する記載】

> 全体的な状況
> ２．教育研究等の質の向上の状況
> （２）大学共同利用の推進
> １）学術資料・情報の組織的調査、収集、整理、研究、提供
> 　本館が実施した研究及び事業の成果に基づき、日本文学及び関連分野のデータベースをウェブサイトにおいて公開し、研究情報の提供を行った。また、新たに作成した論文目録データベースのリーフレットを研究者や学生に配布することで、前年度の同時期（10～12 月）と比べてデータベース検索件数を 1,795 件増加させた。

観点２　利用者の要望に応えているか。

①データベース事業の推進について

各データベースの利用者サービスの向上に資するため、アクセス元情報等の利用統計分析及びウェブページのデザイン等の変更を適宜行った。また、各種公開サービスの表玄関となる当館の Web トップページサーバ及び DNS サーバへの IPv6 アクセスを可能にし､従来のアクセス環境を維持しつつ、世界的な IP アドレス不足に端を発するインターネットインフラの仕様変化にも柔軟に対応できるよう変更を行なっている。

観点３　リポジトリの運用が適切に行われているか。

平成 26 年度から構築を開始した「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」は、平成 27 年４月１日から本公開を開始した。構築には、国立情報学研究所(NII)の JAIRO Cloud サービスを利用している。

今年度は、笠間索引叢刊の追加などコンテンツの充実や、紀要「文学研究篇」へ英文要旨を付与する作業を行い、一部を公開した。平成 28 年３月末までに文学研究篇の全てに英文要旨を付与する予定である。

【業務実績報告書の関連する記載】

全体的な状況 ２．教育研究等の質の向上の状況 （２）大学共同利用の推進 １）学術資料・情報の組織的調査、収集、整理、研究、提供 JAIRO Cloud を利用した機関リポジトリを構築し、平成 27 年４月から一般公開を開始し、241,618 件のアクセスがあった。

２　情報資料サービス事業に関すること

観点１　事業内容に照らして、実施体制が見合ったものとなっているか。

①事業部の構成、委員会等の運営体制について

情報資料サービス事業部長を置き、６名の教員の体制により事業を運営し、図書情報係が事務を担当している。

ほぼ毎月情報資料サービス事業部会を開き、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、図書資料委員会等の関連する委員会と連携し、事業を推進した。

観点２　利用者の要望に応えているか。

①閲覧・複写サービスについて

平成 27 年度の開館日数は 249 日、新規登録者は 1,059 人、来館利用者数は 6,439 人で、前年に比べると減少傾向にある。

平日と土曜日の利用状況を月毎に比較をすると、５月、８～９月、２～３月以外はほぼ土曜日の方が多く、土曜日の利用者へのサービス強化が求められている。

閉架資料のうち、和古書、ポジフィルム出納が大幅に減っているのは、画像公開の効果と見られる。

また、郵送や FAX による個人からの複写申込が 1,132 件あり、遠隔地に住む大学等の機関に所属していない利用者にも高い需要があることがわかる。図書館相互協力による文献複写受付件数は、ここ数年大幅に増加しており、NACSIS-ILL を通じた文献複写受付件数は、受付をした参加組織 1,212 館中 10 位、人文系の機関としては１位となっており、全国的にも上位の水準で資料の共同利用に貢献している。

なお、現物貸借受付は、59 冊、うち図書 57 冊、紙焼写真本 2 冊あり、他機関には所蔵の少ない当館の蔵書が活用されている。

②利用者からの質問への対応状況について

電話等による所蔵調査や文書・ＦＡＸ・電子メールによる参考質問を受け付けるとともに、日本文学・歴史資料分野のレファレンスサービスを継続しておこなった。

観点３　資料の受入・保存が適切に行われているか。

①資料の受入について

図書資料委員会で所蔵資料全体を考慮した計画をたて、日本文学・歴史分野の研究書や雑誌、古典籍原本の収集を行っている。収集した資料は、装備・目録作成を行い利用に供している。

旧史料館所蔵図書の目録遡及事業を継続して行っており、平成 27 年度は 6,362 冊の遡及を行った。また、外部委託により 4,388 冊の遡及を行った。これらにより図書約 85,000 冊のうち 58,000 冊が OPAC で検索可能となった。

②資料の保存環境について

原型を尊重した保存措置・修復作業を継続的に行っている。史料目録刊行済みのものについて、閲覧用ラベル貼付、中性紙封筒・帙・箱等への収納、状態調査記録作成、虫損・剥離箇所への部分修復処置等を行った。その他、必要に応じてクリーニング、中性紙封筒・箱等への入替、部分修復処置等を行った。

新規受入資料は、自動調湿窒素発生装置及び脱酸素剤を使用した殺虫処理を行っている。平成 27 年度は機構長裁量経費により、自動調湿窒素発生装置の増強を行った。大量に受け入れたコレクション類の処理の迅速化を図る予定である。

虫損が甚だしく閲覧・撮影が困難な資料には補修を行っている。平成 27 年度は高乗勲文庫の『年中行事鈔』ほか３点９冊を専門家に依頼して補修を行った。

資料集　目次

１　公開データベース（主に電子情報事業）に関すること

（１）事業部の構成、委員会等の運営体制について

　①公開データベースに関する運営体制【資料１】

　②公開データベースに関して設置している委員会の委員構成【資料２】

（２）データの更新等、管理体制について

　①システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベース【資料３】

（３）データベース事業の推進について

　①公開データベースについて【資料４】

　　ａ）公開データベース一覧（平成２５年度～平成２７年度）

　　ｂ）平成２７年度公開データベースの概要

　　ｃ）公開データベースの利用状況（年間アクセス件数　平成２５年度～平成２７年度）

２　情報資料サービス事業に関すること

（１）事業部の構成、委員会等の運営体制について

　①情報資料サービス事業に関する運営体制【資料５】

　②情報資料サービス事業に関して設置している委員会の委員構成【資料６】

（２）利用者からの質問への対応状況【資料７】

（３）閲覧・複写サービスについて

　①来館利用者の構成（平成２５年度～平成２７年度）【資料８】

　②来館利用数比較（文献複写・入館者）【資料９】

　③資料出納点数（平成２５年度～平成２７年度）【資料１０】

　④相互協力件数（平成２５年度～平成２７年度）【資料１１】

　⑤掲載許可申請受付／展示貸付（平成２５年度～平成２７年度）【資料１２】

（４）資料の受入状況について

　①図書資料受入統計（平成２５年度～平成２７年度）【資料１３】

　②新たに指定された貴重書及び特別コレクション（平成２５年度～平成２７年度）【資料１４】

（５）資料の寄贈、寄託に関する当館の受入体制について

　①寄贈・寄託の受入体制【資料１５】

（６）資料の保存環境について【資料１６】

　①文書・記録類の保存措置・修復処置

　②古典籍原本の保存措置・修復処置

資料1：公開データベースに関する運営体制

ａ）情報事業センター電子情報事業部の体制

＜任務＞

当館の研究及び事業の成果を電子情報として提供し、情報システムの有効・適切な運用を図るとともに、内外の機関との連携を進める。

＜構成：各年度４月１日現在＞

平成２５年度	
教　授	２名
准教授	７名
助　教	１名
合　計	１０名

平成２６年度	
教　授	２名
准教授	７名
助　教	１名
合　計	１０名

平成２７年度	
教　授	２名
准教授	７名
助　教	１名
合　計	１０名

ｂ）管理部学術情報課学術情報係の体制

＜事務分掌＞

（１）統合古典籍データベースの維持、管理に関すること。
（２）「日本古典籍総合目録」データベースの公開に関すること。
（３）「所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録」データベースの公開に関すること。
（４）情報発信事業部電子情報室の予算管理に関すること。
（５）事業データベースの作成支援に関すること。
（６）公開データベースの運用・管理に関すること。
（７）機関リポジトリに関すること。
（８）その他、事業データベース（他の所掌に属するものを除く。）に関すること。

＜構成：各年度４月１日現在＞

平成２５年度	
係　長	1名
パートタイム職員	6名
合　計	7名

平成２６年度	
係　長	1名
パートタイム職員	5名
合　計	6名

平成２７年度	
係　長	1名
再任用職員(短時間勤務)	1名
パートタイム職員	5名
合　計	7名

資料2：公開データベースに関して設置している委員会の委員構成

電子情報委員会

平成24年度～平成25年度		平成26年度～平成27年度	
氏　　名	所　　　属	氏　　名	所　　　属
相原　健郎	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系	相原　健郎	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系
宇陀　則彦	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科	下田　正弘	東京大学大学院人文社会系研究科
高木　元	千葉大学文学部日本文化科学	永崎　研宣	人文情報学研究所
原　正一郎	京都大学地域研究統合情報センター	原　正一郎	京都大学地域研究統合情報センター
横山　伊徳	東京大学史料編纂所	村田　右富実	大阪府立大学人間社会学部
中村　康夫	副館長（企画調整担当）	寺島　恒世	副館長（企画調整担当）
小林　健二	研究部	小林　健二	研究部
古瀬　蔵	研究部	古瀬　蔵	研究部
伊藤　鉄也	研究部	伊藤　鉄也	研究部
太田　尚宏	研究部	海野　圭介	研究部
小山　順子	研究部(平成25年度のみ)	太田　尚宏	研究部
西村　慎太郎	研究部(平成25年度のみ)	加藤　聖文	研究部(平成27年度から)
野本　忠司	研究部	小山　順子	研究部
山田　哲好	研究部	西村　慎太郎	研究部
北村　啓子	研究部(平成25年5月31日まで) 古典籍データベース研究事業センター(平成25年6月1日から)	野本　忠司	研究部
－	－	山田　哲好	研究部(平成26年度のみ)

＜任務＞

（1）電子情報事業計画の基本的事項に関すること。
（2）電子情報事業計画の調整に関すること。
（3）電子情報事業に係る評価に関すること。
（4）その他電子情報事業に関すること。

資料3：システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベース

年度	データベース名	内　　　容
平成25年度	国文学論文目録データベース	・トップページリニューアル ・検索ページをSGML版からCSV版へ変更
平成25年度	国文学論文目録データベース(館内業務用)	印刷機能等の追加
平成25年度	日本古典籍総合目録データベース(公開用/館内用)	異体字検索対応
平成25年度	統合古典籍総合目録データベース(館内業務用)	書誌表バッチ登録機能の開発
平成25年度	所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録データベース	・書名一覧表示システムの構築 ・異体字検索対応 ・画像公開 　館蔵和古書画像の画像として659件を公開するとともに、収集マイクロ資料画像として肥前島原松平文庫、大洲市立図書館、大和文華館など9所蔵者4,641件を公開
平成25年度	日本古典資料調査データベース	詳細表示画面の表示機能の改修
平成25年度	近代書誌・近代画像データベース	表示画面の拡充と機能向上
平成25年度	収蔵歴史アーカイブズデータベース	トップページリニューアル
平成25年度	北米日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	「在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ」に名称変更
平成26年度	国文学論文目録データベース（館内業務用）	作成管理システムへの機能等の追加・修正により、データ編集機能が強化され、データ作成環境が向上
平成26年度	統合古典籍総合目録データベース（館内業務用）	・詳細検索機能の開発とユーザーインターフェースの改修を行い、作成効率のアップに繋がった ・国際共同ネットワーク事業の関連で、独自形式の古典籍書誌データを共通形式となる標準フォーマットに変換するコンバータの開発を行い、今後の事業に役立てる
平成26年度	所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース	画像公開 　館蔵和古書画像の画像として新規に516件を公開するとともに、収集マイクロ資料画像として研医会図書館、三井文庫（旧蔵）、韓国国立中央図書館所蔵資料など13所蔵者6,378件を新規に公開
平成26年度	日本古典資料調査データベース	調査収集事業等で調査したXMLデータをPDF及びJPEG形式に変換して公開の準備をする「公開用データ作成システム」を構築し、今後の公開に役立てる
平成26年度	近代文献情報データベース （近代書誌・近代画像，明治期出版広告）	・トップページ及び各ページリニューアル ・ハイライト表示等の機能追加
平成26年度	史料所在情報データベース	登録するデータを作成するため、テキストデータからSGMLデータに変換するプログラムを設定し、今後の公開に役立てる
平成26年度	増田太次郎広告コレクションデータベース	サムネイル表示の追加
平成27年度	国文学論文目録データベース（館内業務用）	辞書データ画面の修正と論文データインポート機能の構築、データ作成環境が向上
平成27年度	統合古典籍総合目録データベース（館内業務用）	著作・著者を統合する機能の開発、データ編集機能を強化
平成27年度	所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース	画像公開 　館蔵和古書画像の画像として新規に1,572作品を公開するとともに、収集マイクロ資料画像として32所蔵者10,343作品を新規に公開

資料4:公開データベースについて

＜概略＞
〇国文学研究資料館では、日本文学及びその関連領域研究のため、様々なデータベースを作成している。
〇作成データベースは、当館Ｗｅｂサイトの電子資料館のページ（http://www.nijl.ac.jp/pages/database/）
　から公開している。（公開データベース数は３１タイトル）
〇公開データについては、適宜追加、更新などの作業を行い、学術基盤としてのサービスの維持・向上に努めている。
　また、これら情報資源については定期的なバックアップを行い、不測の事態に備える対応を図り、維持に努めている。

＜共同利用の促進＞
人間文化研究機構「研究資源共有化事業」に積極的に関わり、その責務を果たしている。
人間文化研究機構に属する６機関（当館、国立歴史民俗博物館、国立国語研究所、国際日本文学研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館）の合計１００以上のデータベースを検索対象とする統合検索システムnihuＩＮＴに参加し、当館のデータベースも安定的に検索できる仕組みを構築している。

特記事項

＜平成２７年度＞
・第８期情報システム（平成２３年２月～平成２８年１月の５年間）から平成２８年２月１日に第９期情報システムへ移行した。システム移行のタイミングで別紙１のとおりデータベースの統合を行い、利用者の利便性の向上を図った。
・平成２７年４月１日から国立情報学研究所(NII)のJAIRO Cloudサービスを利用し、当館の研究成果等を発信し学術研究の発展に資するため、「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」の本公開を開始した。公開されている著作物の一覧及び利用状況は別紙２のとおり。また、リポジトリ運用指針は別紙３のとおり。

ａ)公開データベース一覧(平成25年度～平成27年度)

平成２５年度	→	平成２６年度	平成２７年度
所蔵図書・雑誌目録（OPAC）	名称変更	図書・雑誌所蔵目録（OPAC）	図書・雑誌所蔵目録（OPAC）
国文学論文目録データベース		国文学論文目録データベース	国文学論文目録データベース
日本古典籍総合目録データベース		日本古典籍総合目録データベース	日本古典籍総合目録データベース
所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース		所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース	所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース
日本古典資料調査データベース		日本古典資料調査データベース	日本古典資料調査データベース
近代書誌・近代画像データベース		近代書誌・近代画像データベース	近代書誌・近代画像データベース
明治期出版広告データベース		明治期出版広告データベース	明治期出版広告データベース
大系本文（日本古典文学・噺本）データベース		大系本文（日本古典文学・噺本）データベース	大系本文（日本古典文学・噺本）データベース
古典選集本文データベース		古典選集本文データベース	古典選集本文データベース
歴史人物画像（古典キャラクター）データベース		歴史人物画像（古典キャラクター）データベース	歴史人物画像（古典キャラクター）データベース
連歌・演能・雅楽データベース		連歌・演能・雅楽データベース	連歌・演能・雅楽データベース
コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベース		コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベース	コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベース
新奈良絵本データベース		新奈良絵本データベース	新奈良絵本データベース
収蔵歴史アーカイブズデータベース		収蔵歴史アーカイブズデータベース	収蔵歴史アーカイブズデータベース
古事類苑データベース		古事類苑データベース	古事類苑データベース
古典学統合データベース（芳賀人名・地下家伝）	名称変更	古典学統合データベース（地下家伝・芳賀人名辞典）	古典学統合データベース（地下家伝・芳賀人名辞典）
史料情報共有化データベース		史料情報共有化データベース	史料情報共有化データベース
和刻本漢籍総合データベース		和刻本漢籍総合データベース	和刻本漢籍総合データベース
古筆切所収情報データベース		古筆切所収情報データベース	古筆切所収情報データベース
アーカイブズ学文献データベース		アーカイブズ学文献データベース	アーカイブズ学文献データベース
日本実業史博物館コレクションデータベース		日本実業史博物館コレクションデータベース	日本実業史博物館コレクションデータベース
館蔵神社明細帳データベース		館蔵神社明細帳データベース	館蔵神社明細帳データベース
伊豆韮山江川家文書データベース		伊豆韮山江川家文書データベース	伊豆韮山江川家文書データベース
伝記解題データベース		伝記解題データベース	伝記解題データベース
日本文学国際共同研究データベース		日本文学国際共同研究データベース	日本文学国際共同研究データベース
史料所在情報データベース		史料所在情報データベース	史料所在情報データベース
蔵書印データベース		蔵書印データベース	蔵書印データベース
増田太次郎広告コレクションデータベース		増田太次郎広告コレクションデータベース	増田太次郎広告コレクションデータベース
近世話彙カードデータベース		近世話彙カードデータベース	近世話彙カードデータベース

所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像データベース		所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像データベース	所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像データベース
北米日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	名称変更	在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ

平成28年2月～　第8期～第9期への移行

第8期DB	第9期DB	備考
日本古典籍総合目録DB	日本古典籍総合DB	日本古典籍総合目録DBと所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録DBのシステムを一元化。日本古典籍総合目録DBでの画像参照を可能にし、所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録DBは、館蔵和古書目録DBに改称し対象を所蔵和古書に絞った。（和刻本漢籍総合データベースを統合。）
和刻本漢籍総合DB		
所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録DB	館蔵和古書目録DB	
古典選集本文DB	古典選集本文DB	奈良絵本の作品の一部を加えた検索対象の拡大、統合検索機能の追加
新奈良絵本DB	新奈良絵本DB	
歴史人物画像DB	歴史人物画像DB	伝記解題DBを統合
伝記解題DB		
日本文学国際共同研究DB	日本文学国際共同研究 データアーカイブ	名称変更

b）平成27年度公開データベースの概要

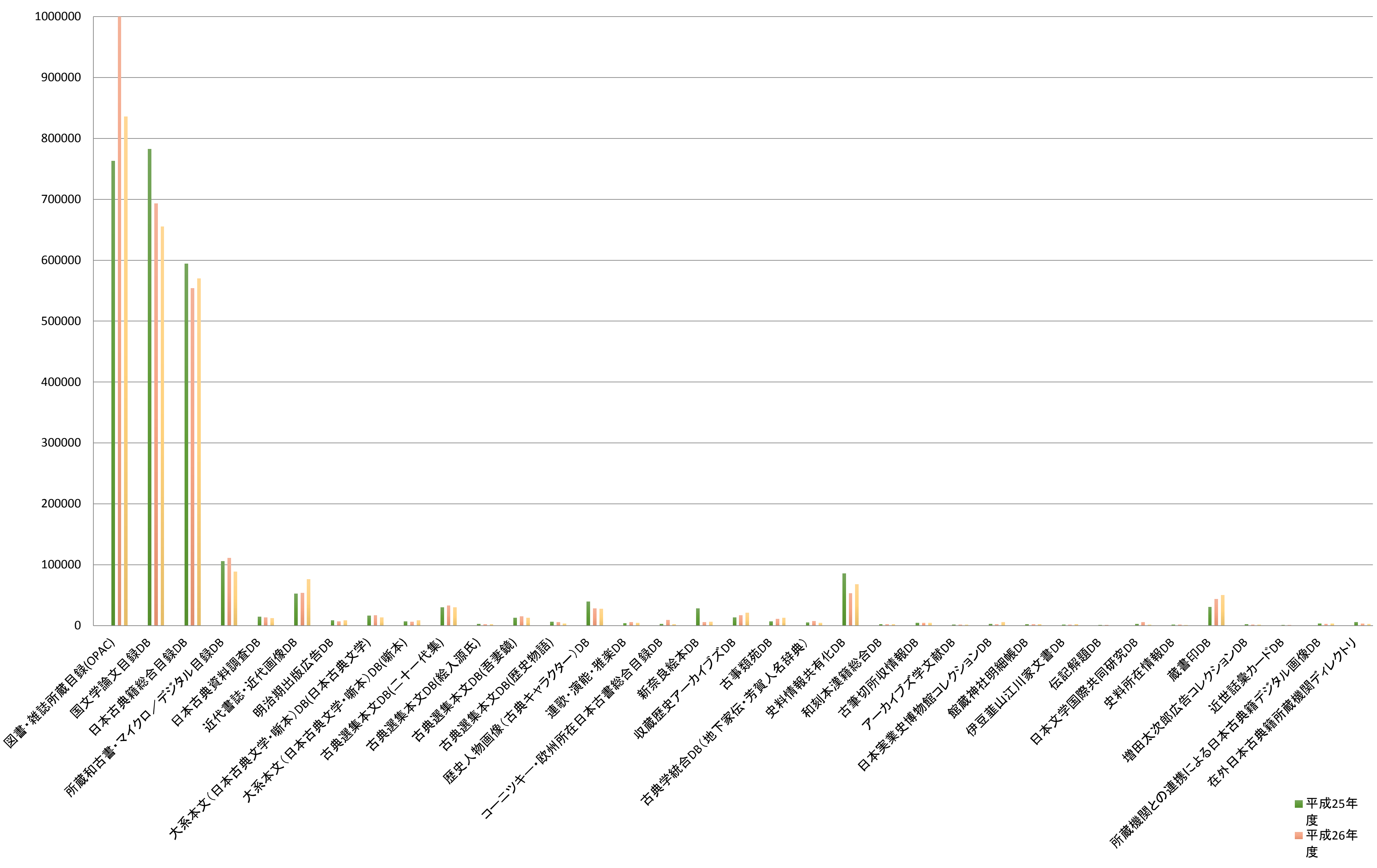
名　　　称	内　　　　　　容	データ件数
図書・雑誌所蔵目録（OPAC）	当館所蔵の明治期以降の図書、雑誌（逐次刊行物）の目録	図書約352,000冊、雑誌約9,000種
国文学論文目録データベース	国文学関係論文（大正元年～平成２５年）の目録	約554,500件
日本古典籍総合目録データベース	日本の古典籍の書誌・所在情報を、著作・著者の情報（典拠情報）とともに提供する総合目録	著作約474,900件、著者約69,500件、書誌約542,800件
所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース	当館所蔵の和古書とマイクロ／デジタル資料（国内外の大学・図書館等所蔵の古典籍を当館が収集）の目録	約21,200件
日本古典資料調査データベース	当館が調査してきた国内外の写本・版本等の「文献資料調査カード」から主要な書誌情報を抽出	約177,200件
近代書誌・近代画像データベース	明治期以降の国文学を中心とした文献資料の調査・収集の成果を公開	書誌約39,400件、画像約4,700件
明治期出版広告データベース	近代日本の出版事情を探ることを目的とし、明治前期の新聞・雑誌等に掲載された出版物の広告を集成	約77,800件
大系本文（日本古典文学・噺本）データベース	『日本古典文学大系』（旧版、岩波書店刊）（利用登録制）と『噺本大系』（東京堂出版刊）の全文検索とテキスト閲覧	日本古典文学556作品、噺本329作品
古典選集本文データベース	二十一代集、絵入源氏物語、吾妻鏡、歴史物語の当館蔵書底本テキストの全文検索と画像閲覧	二十一代集約280,000件、絵入源氏約18,300件、吾妻鏡約273,000件、歴史物語約50,000件
歴史人物画像（古典キャラクター）データベース	国書古典籍中の絵入り叢伝から、主に明治以前の古典キャラクターの人物画像を収録	約3100名・約4700件
連歌・演能・雅楽データベース	連歌データベースと演能データベースを連結し、新規作成の雅楽データベースを添え、セットにして公開	約50,000件
コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベース	欧州各国の図書館・美術館・博物館等所蔵の「日本の和装本」の書誌・所在情報	約14,300件
新奈良絵本データベース	当館所蔵の奈良絵本（１９本）の原本画像を公開（翻刻付）	19本
収蔵歴史アーカイブズデータベース	史料館旧蔵の資料群を中心とした当館収蔵歴史資料（アーカイブズ）の概要及び目録を収録	約275,800件
古事類苑データベース	日本の古代から近世までの制度・文物・社会に関する百科事典『古事類苑』大正洋装本のデータベース	約6,400頁
古典学統合データベース（地下家伝・芳賀人名辞典）	日本の古典研究に関わる人物情報を収録。現在、『日本人名辞典』と『地下家伝』を搭載	約51,000件
史料情報共有化データベース	国内外で公開されている資料群（アーカイブズ）情報（歴史資料を公開する各収蔵機関による共同構築）	約13,000件
和刻本漢籍総合データベース	当館収集のマイクロ資料の和刻本の序跋刊記情報と所蔵和刻本の画像等を収録	約1,900件
古筆切所収情報データベース	『古筆切提要』以後に影印刊行された古筆切類の所収情報	約23,000件
アーカイブズ学文献データベース	アーカイブズ学に関する国内研究文献データベース。個々の文献で章立てがあるものは「内容」に全て採録	約18,800件
日本実業史博物館コレクションデータベース	日本実業史博物館準備室旧蔵資料のうち絵画・器物・広告の資料情報と画像を公開	資料情報約6,900件、画像約13,600件

館蔵神社明細帳データベース	当館所蔵の戦前期における全国の神社明細帳に関する神社名・所在地・社格等を収録	約43,100件
伊豆韮山江川家文書データベース	財団法人江川文庫が所蔵する古文書・文芸関係の目録情報を同文庫との協業により公開	約60,000件
伝記解題データベース	当館所蔵の典籍やマイクロフィルムに収載されている人物伝・人物叢伝の内容の解題と、どんな人物が収録されているかをデータベース化	約120件
日本文学国際共同研究データベース	海外の研究論文目録や論文画像、翻訳作品等を公開	約7,000件
史料所在情報データベース	国内各地に伝来する資料群の所在・概要情報（詳細版は利用登録制）	簡易版約50,000件、詳細版約48,000件
蔵書印データベース	当館所蔵の古典籍を中心に、原本から採取した蔵書印情報を印影とともに収録	蔵書印レコード数約33,200件、印影数約26,800点
増田太次郎広告コレクションデータベース	増田太次郎氏が収集した広告類の主要部分の書誌情報・画像を公開	約8,700点
近世話彙カードデータベース	故松崎仁氏の手書きのノート・メモをそのまま収録した歌舞伎・浄瑠璃用語など約15万枚の近世話彙カードのデータベース	約150,000枚
所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像データベース	平成23年度科学研究費補助金に基づく広島大学附属図書館所蔵「読本」コレクションの画像公開	43点
在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	日本の古典籍を所蔵する日本国外の機関の連絡先、閲覧の可否等の情報を英語（一部日本語も有）で提供	91件

c）公開データベースの利用状況（年間アクセス件数　平成25年度～平成27年度）　（件）

名　称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備　考
図書・雑誌所蔵目録(OPAC)	763,119	999,513	835,914	
国文学論文目録DB	782,798	693,166	655,347	
日本古典籍総合目録DB	593,847	554,147	570,134	
所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録DB	105,445	110,746	88,389	
日本古典資料調査DB	14,468	13,346	12,235	
近代書誌・近代画像DB	52,493	53,519	76,333	
明治期出版広告DB	8,581	6,327	8,831	
大系本文（日本古典文学・噺本）DB(日本古典文学)	16,206	17,101	13,383	
大系本文（日本古典文学・噺本）DB(噺本)	6,904	6,091	8,740	
古典選集本文DB(二十一代集)	29,925	32,994	29,653	
古典選集本文DB(絵入源氏)	2,516	2,189	1,849	
古典選集本文DB(吾妻鏡)	12,986	14,731	12,832	
古典選集本文DB(歴史物語)	5,995	5,186	3,540	
歴史人物画像（古典キャラクター）DB	39,244	28,182	27,309	
連歌・演能・雅楽DB	3,930	5,646	4,630	
コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録DB	2,643	9,025	1,941	
新奈良絵本DB	27,965	5,607	6,239	
収蔵歴史アーカイブズDB	13,141	16,974	20,754	
古事類苑DB	6,968	10,759	12,560	
古典学統合DB（地下家伝・芳賀人名辞典）	4,846	7,054	4,206	
史料情報共有化DB	85,604	53,148	67,909	
和刻本漢籍総合DB	1,836	2,225	1,805	
古筆切所収情報DB	4,531	4,367	4,040	
アーカイブズ学文献DB	1,052	1,127	1,554	
日本実業史博物館コレクションDB	2,485	1,744	5,157	
館蔵神社明細帳DB	2,288	2,127	2,324	
伊豆韮山江川家文書DB	1,661	1,700	1,815	
伝記解題DB	707	686	546	
日本文学国際共同研究DB	2,709	5,256	1,058	
史料所在情報DB	1,210	1,403	905	
蔵書印DB	30,726	43,392	50,180	
増田太次郎広告コレクションDB	2,108	1,010	1,235	
近世話彙カードDB	740	814	259	
所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像DB	3,521	2,607	3,270	
在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	5,174	3,218	2,773	

c）公開データベースの利用状況（年間アクセス件数　平成25年度～平成27年度）

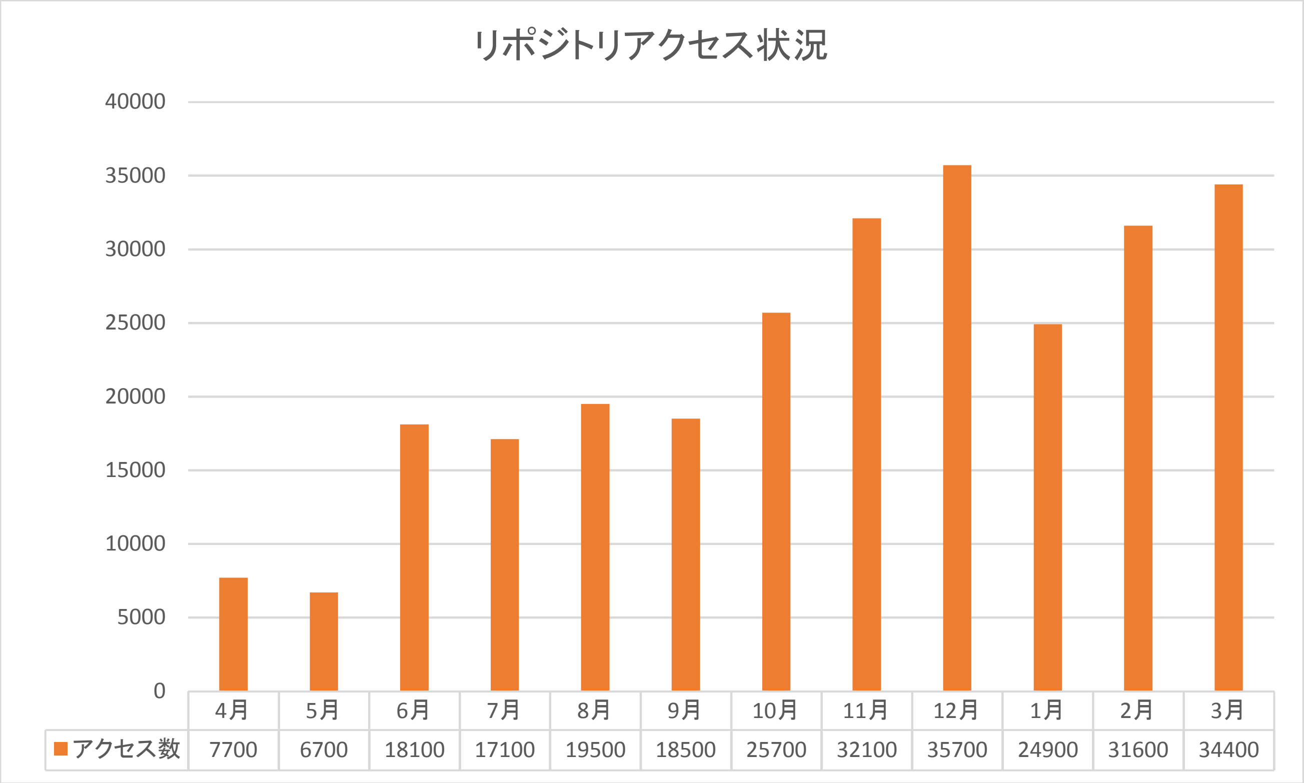


別紙1：リポジトリ
公開著作物一覧（平成27年度末）

（件）

分類	著作物名	件数
紀要	文学研究篇	377(うちメタデータのみ181)
	アーカイブズ研究篇	82
	史料館研究紀要	230(うちメタデータのみ1)
調査研究報告	笠間索引叢刊	30
学術資料	国文研ニューズ	42
その他	国文学研究資料館報	62
	史料館報	80
	アーカイブズ・ニューズレター	8
	年報	40
	記念誌	18
	展示図録	1
合計		1,084

利用状況



別紙2:リポジトリ運用指針

国文学研究資料館学術情報リポジトリ運用指針

平成２６年１１月１４日
制　　　　　　　定

（目的）
第１条　この指針は、国文学研究資料館（以下「当館」という。）において運用する国文学研究資料館学術情報リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）の運用指針を定めることを目的とする。

（定義）
第２条　この指針において、「リポジトリ」とは、当館の学術研究及び事業活動において作成された研究成果等を電子的形態で収集し、恒久的に蓄積・保存し、館内外に無償で発信・提供することにより、国文学及び関連分野の学術研究の発展に資するとともに、社会に貢献するためのシステムをいう。

（管理・運用）
第３条　リポジトリの管理・運用は電子情報事業部が行うものとする。

（登録対象）
第４条　リポジトリに登録することができる研究成果等は、次に掲げるものとする。
（１）別表１に掲げる当館において作成された刊行物。
（２）次に掲げる要件を満たし、情報事業センター長が特に認めたもの。
①学術的な研究成果等であること。
②登録者が作成に関与した研究成果等であること。
③法令上、社会通念上又は情報セキュリティ上の問題が生じないものであること。
④その他公開することについて問題が生じないものであること。

（登録者）
第５条　リポジトリに研究成果等を登録できる者（以下「登録者」という。）は次に掲げる者とする。
（１）当館に在籍する又は在籍したことのある職員。
（２）第４条別表１に掲げる当館において作成された刊行物の著作者。
（３）その他情報事業センター長が特に認めた者。

（登録許諾手続き）
第６条　リポジトリに研究成果等を登録することを許諾する者は、別に定める登録許諾手続きを行うものとする。

（共著者の許諾）
第７条　共著者等の登録者以外の著作権者がある研究成果等を登録する場合、登録者はあらかじめ著作権者の許諾を得ておかなければならない。

（研究成果等の保存と公開）
第８条　登録者から提供された研究成果等について著作権法その他関係法令等を調査し、公開について支障がないと判断した場合には、リポジトリに保存し、無償で公開する。

（研究成果等の部分的な公開の制限）
第９条　登録者は、リポジトリによる公開に適当でないと判断する文言、図表、写真等がある場合は、当該箇所を非公開とすることができる。

（研究成果等の利用）
第10条　ネットワークを通じてリポジトリに登録された研究成果等を利用する者（以下「利用者」という）は、著作権法に規定されている私的使用等の範囲を超えて利用しようとする場合、著作権者の承諾を得なければならない。

（研究成果等の削除）
第11条　次のいずれかに該当する場合には、リポジトリに登録された研究成果等を削除することができる。
（１）登録者が、理由を付して削除の申請を行い、それを情報事業センター長が承認した場合。
（２）電子情報事業部会において公開が適当でないと判断し、削除することを決定した場合。

（免責事項）
第12条　当館は、リポジトリに登録された研究成果等を利用することによって発生した登録者又は利用者のいかなる損害についても、一切責任を負わないものとする。

（審議機関）
第13条　リポジトリの適正かつ円滑な運用を図るために必要な事項については、電子情報事業部において審議し決定するものとする。
なお、電子情報事業部の裁量範囲を超える事項については、関係者間で別途協議することとする。

附　則
この指針は、平成２６年１１月１４日から施行し、平成２６年７月９日から適用する。

別表１：第４条(1)関係

	刊行物の名称	区分
①	国文学研究資料館紀要（文学研究篇）	紀要
②	国文学研究資料館紀要(アーカイブズ研究篇)	紀要
③	調査研究報告	調査研究報告
④	国際日本文学研究集会会議録	国際日本文学研究集会
⑤	科学研究費研究成果報告書	科学研究費研究成果
⑥	各プロジェクトの研究成果報告書	研究成果報告
⑦	史料目録	学術資料
⑧	国文学研究資料館報	その他
⑨	史料館報	その他
⑩	国文研ニューズ	その他
⑪	年報	その他
⑫	概要	その他
⑬	展示図録	その他
⑭	催し物チラシ	その他
⑮	催し物ポスター	その他

＊電子情報事業部は平成28年10月から情報発信事業部に改組

資料５：情報資料サービス事業に関する運営体制

１．情報事業センター情報資料サービス事業部の体制

＜任務＞

図書・資料の受け入れ、整理・保管、閲覧サービス等に関する業務を行うとともに、情報事業センター内の他部と連携して電子資料館システムを推進する。

＜構成：各年度 4 月 1 日現在＞

平成 25 年度	
教授	2 名
准教授	2 名
助教	1 名
合計	5 名

平成 26 年度	
教授	2 名
准教授	2 名
助教	1 名
合計	5 名

平成 27 年度	
教授	3 名
准教授	2 名
助教	1 名
合計	6 名

２．管理部学術情報課図書情報係及び情報サービス第１・２係の体制

＜事務分掌＞

【図書情報係】

（１）学術情報課の所掌事務に関し、連絡調整すること。
（２）図書資料の選定、契約、受入、登録及び整理に関すること。
（３）資料の寄託に関すること。
（４）図書資料の目録作成に関すること。
（５）所蔵和古書目録データベースの作成に関すること。
（６）図書館システムの運用・管理に関すること。
（７）情報資料サービス事業部の予算管理に関すること。
（８）その他、情報資料サービス事業に関し、他の所掌に属しない事務を処理すること。
（９）学術情報課（他の所掌に属するものを除く。）の予算管理に関すること
（10）学術情報課（他の所掌に属するものを除く。）の職員等の出張計画に関すること。
（11）その他、学術情報課の他の所掌に属しない事務を処理すること。

【情報サービス第１係】

（１）閲覧業務に関すること。
（２）文献複写に関すること。
（３）所蔵資料の保存及び管理に関すること。
（４）図書館間相互協力、レファレンスに関すること。
（５）資料利用に係る収入金の債権計上に関すること。
（６）レファレンスに関すること
（７）その他、所蔵資料の利用（他の所掌に属するものを除く。）に関すること。

【情報サービス第２係】

（１）アーカイブズ（原本史料）の保存、補修及び保存環境調査に関すること。
（２）アーカイブズに係る図書資料の選定、整理に関すること。
（３）アーカイブズに係るレファレンスに関すること。
（４）所蔵資料の貸付に関すること。
（５）所蔵資料の撮影、掲載に関すること。
（５）その他、アーカイブズに関すること。

＜構成：各年度４月１日現在＞

平成25年度			
区　分	図書	情サ１	情サ２
係　長	１名	１名	
係　員	２名	１名	１名
パートタイム職員	６名	６名	２名
合　計	９名	８名	３名

平成26年度			
区　分	図書	情サ１	情サ２
係　長	１名	１名	
係　員	２名	１名	１名
パートタイム職員	６名	６名	２名
合　計	９名	８名	３名

平成27年度			
区　分	図書	情サ１	情サ２
係　長	１名	１名	
係　員	２名	１名	１名
パートタイム職員	６名	６名	２名
合　計	９名	８名	３名

資料６：情報資料サービス事業に関して設置している委員会の委員構成

図書館事業委員会委員会

平成 24 年度～平成 25 年度		平成 26 年度～平成 27 年度	
氏　　名	所　　　属	氏　　名	所　　　属
大川　龍一	国立国会図書館	大山　敬三	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系
大山　敬三	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系	上原　正隆	一橋大学附属図書館
加徳　健三	一橋大学附属図書館	佐藤　孝之	東京大学史料編纂所
佐藤　孝之	東京大学史料編纂所	中渡　明弘	国立国会図書館
鈴木　俊幸	中央大学文学部	鈴木　俊幸	中央大学文学部
中村　康夫	研究部	寺島　恒世	研究部
伊藤　鉄也	研究部	伊藤　鉄也	研究部
鈴木　　淳	研究部	大髙　洋司	研究部
相田　　満	研究部	陳　　　捷	研究部
陳　　　捷	研究部	相田　　満	研究部
西村慎太郎	研究部	青木　　睦	研究部
野本　忠司	研究部	太田　尚宏	研究部
太田　尚宏	研究部	西村慎太郎	研究部
		野本　忠司	研究部

＜任務＞

（1）図書館事業の基本的事項に関すること。
（2）図書館事業の計画の調整に関すること。
（3）図書館事業の管理及び利用に関すること。
（4）図書館事業の評価に関すること。
（5）その他図書館事業に関すること。

【参考】

図書資料委員会

氏　　名	備　　考
相田　　満	平成25年度まで
青木　　睦	平成26年度から
青田　寿美	
入口　敦志	
海野　圭介	

江戸　英雄	
太田　尚宏	
落合　博志	
神作　研一	
恋田　知子	
齋藤真麻理	
陳　　捷	
寺島　恒世	平成26年度から
中村　康夫	平成25年度まで
西村慎太郎	
山田　哲好	平成26年度から

＜任務＞

（1）図書資料の受入れ・収集に関すること。
（2）貴重書指定に関すること。

資料7：利用者からの質問への対応状況

＜レファレンスサービス件数＞　（件）

質問の種類		平成25年度	平成26年度	平成27年度
文書による質問		57	66	31
メールによる質問	総合窓口システムへの質問	76	78	63
	問い合わせメール	241	172	209
電話による質問	所蔵調査	143	153	153
	利用についての問い合わせ	435	509	524
	内部調査	53	44	57
クイック・レファレンス（閲覧カウンターでの質問）		936	883	705
合　　計		1,941	1,905	1,742

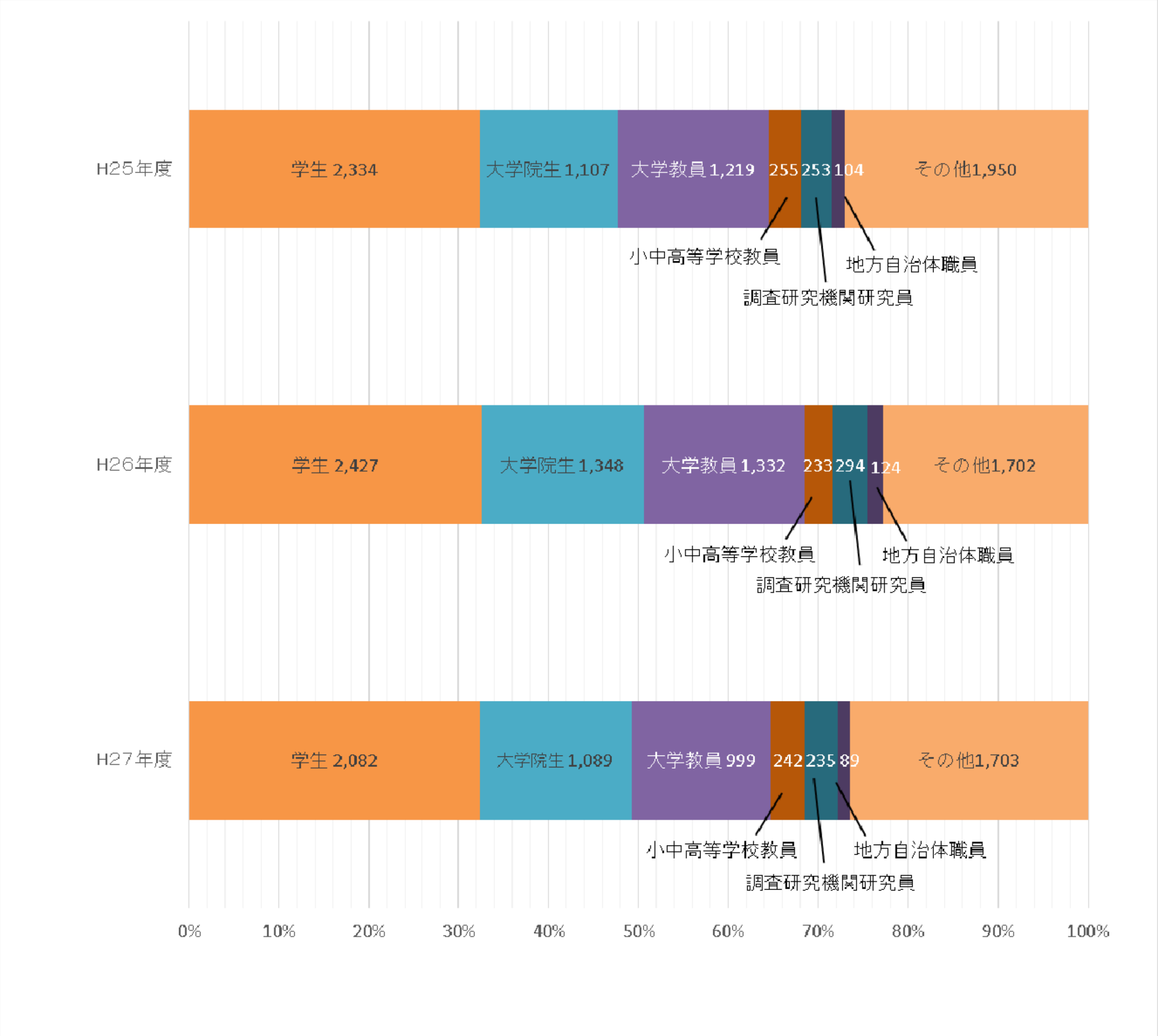
＜利用者から質問及び回答（一部）＞

年度	利用者からの質問	内　　容
H25	藤原定家の歌「小倉山 しぐるる頃の～」の読みと意味を知りたい。	下記資料に記述があることを確認し、底本・表記・通釈および資料名を回答。 ・『続後撰集総索引』（滝沢貞夫編. 明治書院, 1983年） ・『続後撰和歌集全注釈』（木船重昭編著. 大学堂書店, 1989年）
H25	蹈鞴（たたら）で砂鉄から銑鉄を作るまでの四日四晩を一代（ひとよ）という。「君が代」の歌中の「代」が一般に言われているように世代のことか、蹈鞴関係なのか、それともまったく別の意味なのか、解釈を知りたい。	蹈鞴に関係する「一代」（一操業）の意で解釈している資料は確認できず、（1）治世または（2）寿命・一生・人生との解説がある下記資料のほか論文および辞典類での確認結果を回答。 ・『君が代の歴史』（山田孝雄. 宝文館出版, 1956年） ・『国歌君が代講話』（小田切信夫. 共益商社書店, 1929年）
H25	「大岡越前が出世が早く井上河内守から奏者番の控室に入ることを拒否された」というエピソードの原文について知りたい。	エピソードが紹介されている図書・論文および出典の紹介した。 出典：江戸幕府編纂史料「徳川実紀」内「有徳院殿御実紀　附録七」 ・「人物叢書　相賀忠相」大石学著　吉川弘文館　p.205 ・論文「江戸幕府の行政機構」大石槇三郎
H26	二十一代集と日本古典文学大系収録本中の「あかあかと」という語の使用例や使用数について知りたい。	二十一代集は「日本文学Web図書館」で、日本古典文学大系収録本は「日本古典文学大系本文データベース」で検索した結果のほか、「あかあかと」という表現について触れている論文、辞典での調査結果について回答。
H26	「信長公記」（原本或は江戸期までの写本等）の所蔵の有無とコピーの可否。また、解読文の入手方法を知りたい。	当館に所蔵はないが、他機関のマイクロフィルムがあり、プリントアウトのお渡しは可能であること、さらに出版されている翻刻の紹介に加え、『国史大辞典』での調査結果、国立国会図書館のレファレンス協同データベースのレファレンス事例について回答。
H26	小泉藩分限帳の所蔵はあるか？複写は可能か？	32S小谷家文書に32S/2874「片桐小泉藩　御家中分限帳」あり。複写は不可、撮影可能の旨を回答。
H27	マイクロ資料『初学検韻』（請求記号：30-417-6）『山水高趣』（マイクロ請求記号：30-1096-6）の題辞・識語に「貫名菘翁」（海屋・苞・須静堂主人・摘菘人などの号もある人物）の記載があるか。	フィルムを確認し、下記の通り回答。 ・『初学検韻』→　表紙から8、9コマ目に識語があり、その9コマ目に「須静堂主人識」とあり ・『山水高趣』→　コマNo.644、645に題辞があり、コマNo.645コマに「海屋生苞題」とあり
H27	『玉葉』の国書刊行会版の依拠本となった異本の起源・成立背景と、九条家異本の起源・成立背景について知りたい。	下記資料に解説があったため、資料名および本文を抜粋して回答。 ・『訓読玉葉』（九条兼実[原著]. 高橋貞一; 第1巻. 高科書店, 1988年） ・『『玉葉』を読む : 九条兼実とその時代』（小原仁編. 勉誠出版, 2013年）
H27	戦時中にドングリ拾いを推奨したチラシを探している。	当館に所蔵なし。同様の資料が『八王子市郷土資料館だより』に掲載あり、ネット上での閲覧が可能な旨を案内。合わせて書籍『団栗と戦争』『犬山市史』などを紹介。

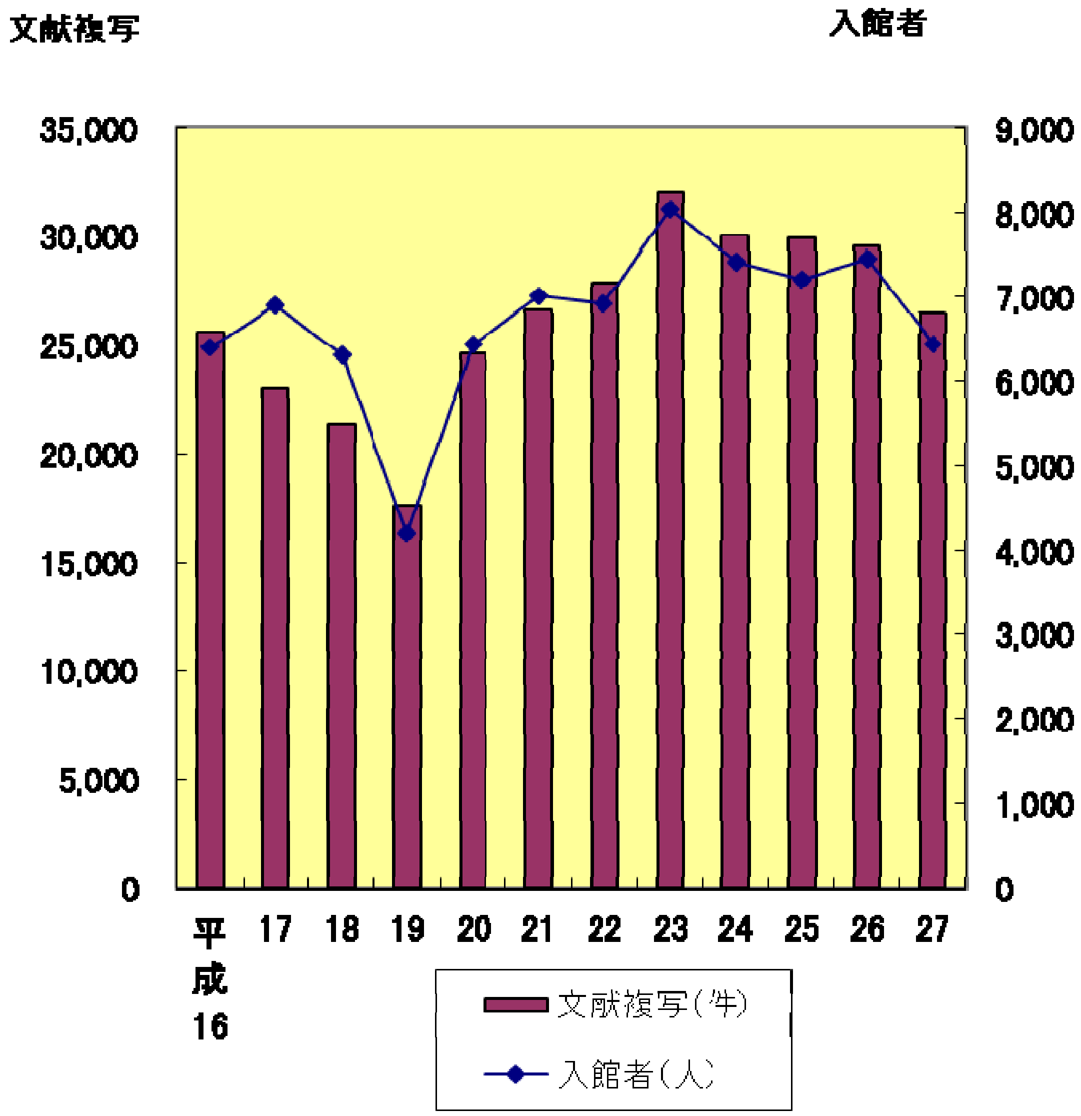
資料8：来館利用者の構成（平成25年度～平成27年度）

＜来館利用者の構成＞　（人）

利用者内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生	2,334	2,427	2,082
大学院生	1,107	1,348	1,089
大学教員	1,219	1,332	999
小中高等学校教員	255	233	242
調査研究機関等研究員	253	294	235
地方自治体職員	104	124	89
その他（館外者）	1,950	1,702	1,703
合　計	7,222	7,460	6,439



資料9：来館利用数比較（文献複写・入館者）



※平成26年度以降の文献複写件数：窓口収入分と外部委託分を合算

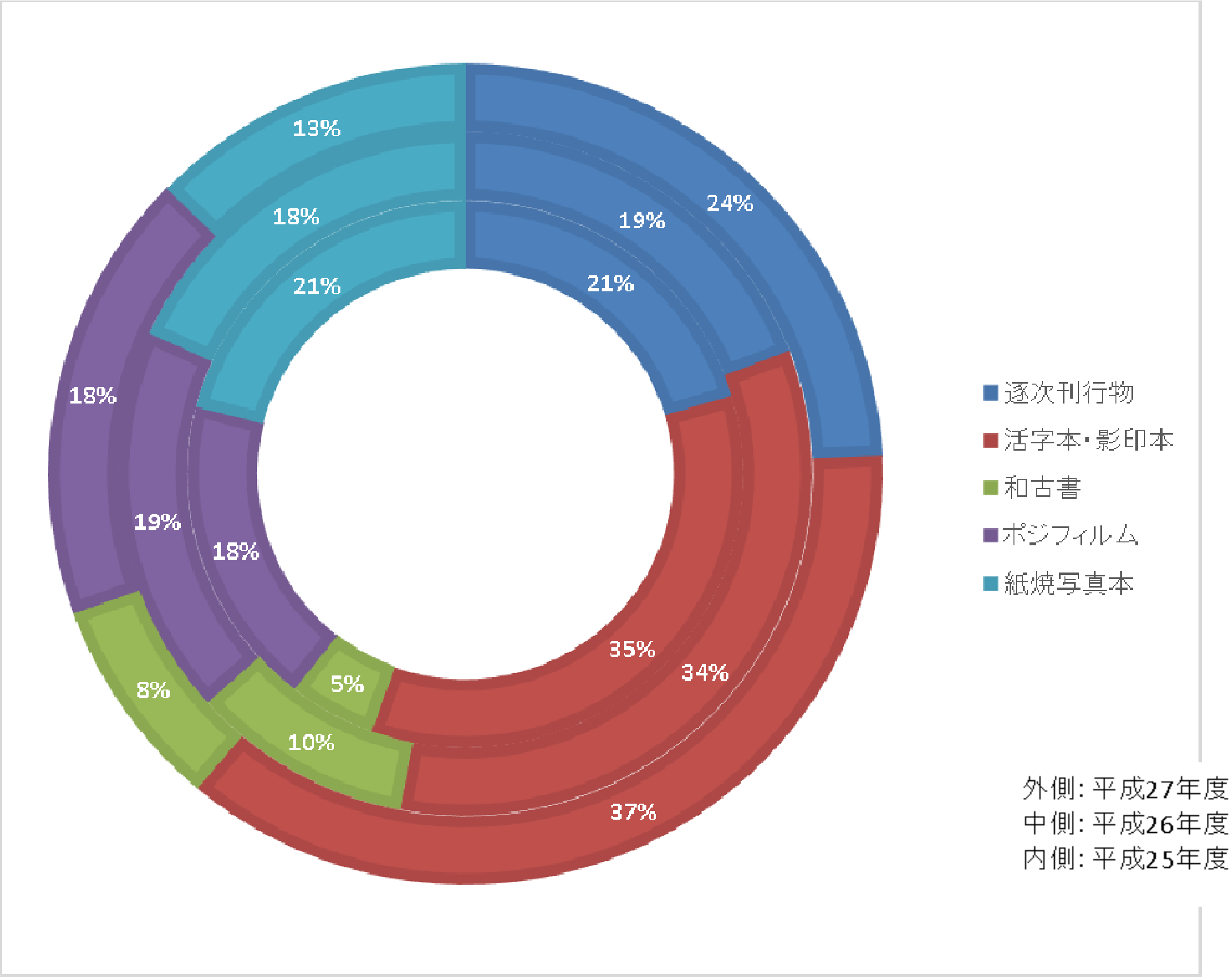
平成18年度：アスベスト工事により3ヶ月間休館
平成19年度：移転準備のため6ヶ月間休館
平成20年度：7月から土曜開館・隔週水曜休館
平成22年度：地震・計画停電のため5日間休館、2日間正午以降休館
平成26年度以降：マイクロ複写外部委託体制変更

資料10:資料出納点数(平成25年度～平成27年度)

＜資料出納点数＞　　(点)

項　　目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
逐次刊行物	1,708	1,767	1,683
活字本・影印本	2,939	3,127	2,551
和古書	430	953	577
ポジフィルム	1,540	1,700	1,234
紙焼写真本	1,757	1,681	880
史料	21,381	25,961	26,791
紙焼写真本一夜貸	25	14	15
合　　計	29,780	35,203	33,731

資料出納点数内訳(史料・紙焼写真本一夜貸を除く)



資料11：相互協力件数（平成25年度～平成27年度）

＜相互協力件数＞

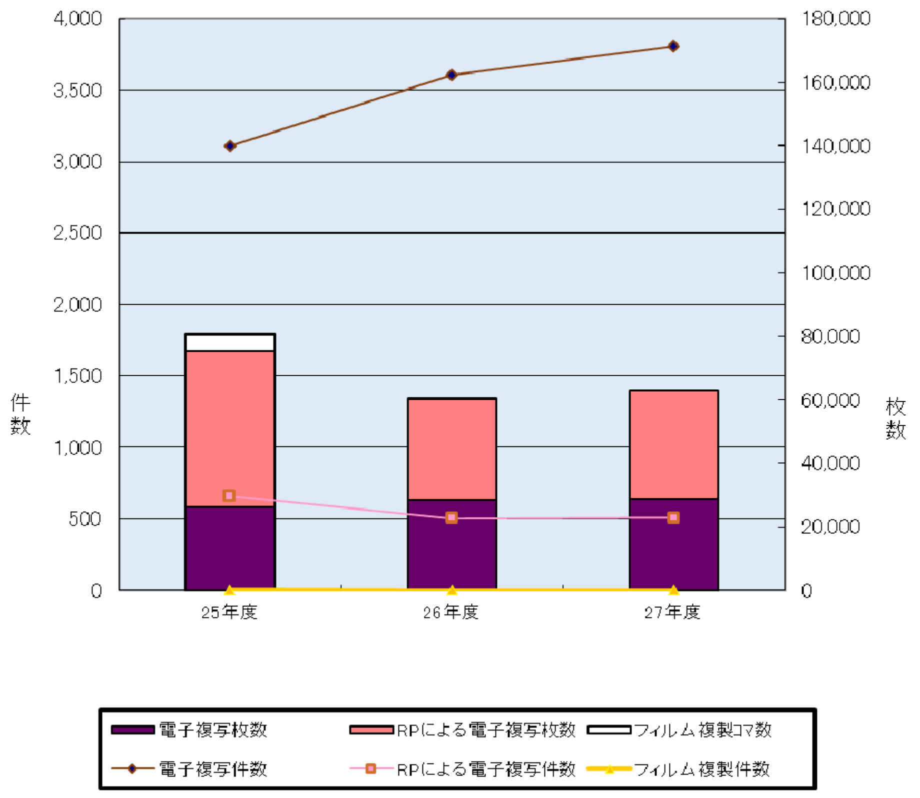
項　目		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受　付		依頼	受　付		依頼	受　付		依頼
閲覧	紹介状	－		30件	－		40件	－		19件
貸借	図書	55冊		13冊	48冊		1冊	59冊		3冊
	紙焼写真本	4冊		－	9冊		－	2冊		－
複写	電子複写	3,108件	26,231枚	49件	3,607件	28,386枚	13件	3,809件	28,910枚	31件
	RPによる電子複写	660件	49,264枚	19件	505件	31,965枚	21件	509件	33,884枚	23件
	フィルム複製	5件	4970コマ	0件	1件	282コマ	2件	0件	0コマ	2件
	合計	3,773件	80,465枚	68件	4,113件	60,633枚	36件	4,318件	62,794枚	56件

＜海外からの複写依頼件数＞グローバルILL参加館（北米・韓国）

項　目		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		受　付		受　付		受　付	
複写	電子複写	153(2)件	1,203(8)枚	162(10)件	1,268(55)枚	244(6)件	2,239(35)枚
	RPによる電子複写	0件	0枚	1(1)件	4(4)枚	0件	0枚
	フィルム複製	0件	0コマ	0件	0コマ	0件	0コマ
	合計	153件(2)件	1,203(8)枚	163(11)件	1,272(59)枚	244(6)件	2,239(35)枚

※()内は全体のうち、北米からの依頼件数

相互協力文献複写受付比較



資料12：掲載許可申請受付／展示貸付（平成25年度～平成27年度）

＜掲載許可申請受付件数＞

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
翻刻掲載	17件	23件	8件
写真掲載	209件（うち、無償106件）	213件（うち、無償123件）	216件（うち、無償119件）
合　計	226件	236件	224件

※写真掲載のうち、無償のものは非営利・学術目的の要件に該当

＜平成27年度の主な写真掲載＞

申請者	掲載先	資料名
株式会社清水書院	中学用検定教科書「中学歴史 日本の歴史と世界」	「豊饒御陰参之図（日本実業史博物館準備室旧蔵資料絵画の部）」（37TA/0317）
日本放送協会 知財センター アーカイブス部	首都圏スペシャル「小笠原諸島 いのちの森と海」	「鯨取之図　天（祭魚洞文庫旧蔵水産史料）」（23Z1/00346-001）第4コマ,第5コマ
株式会社東京美術	『もっと知りたい本阿弥光悦-生涯と作品』	「方丈記（第7コマ）」（99-168）
株式会社汲古書院	いくさと物語の中世	「曽我物語（第25コマ）」（タ4-29-3）

＜展示貸付＞

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	10件	9件	8件
点数	28点	56点	20点

＜平成27年度貸付実績＞

主催者名	展示会名	展示期間	資料名	点数
長野県立歴史館	春季企画展「山と海の回廊をゆく-信濃と北陸をつなぐ道-」	H27.4.1～5.17	「日本実業史博物館コレクション」（37TA-551）直江津上野間鉄道雙六各駅真景	1
桑名市博物館	「大定信展」	H27.10.10～11.23	「山水図 田安宗武筆」（水墨画）（15-817） 「翠恩園に遊ぶの記　田安斉匡　文政元年（1818）1冊」（15-430）	2
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	平成27年度一乗谷朝倉氏遺跡資料館特別展「一乗谷～戦国城下町の栄華～」	H27.9.19～11.8	「七十番職人歌合」（ヨ1-156）	1
栃木県立博物館	第112回企画展「川のあるくらし～栃木の漁師の玉手箱～」	H27.7.18～8.30	「日本捕魚図志　上」（23Z1-192）	1
鳥取市歴史博物館	平成27年度特別展「荒木又右衛門と鳥取～伊賀越え仇討始末～」	H27.9.12～10.25	「阿波国徳島蜂須賀家文書」 11点	11
公益財団法人　五島美術館	開館55周年記念特別展「一休―とんち小僧の正体―」	H27.10.24～12.6	①「稲妻表紙後編本朝酔菩提」（ナ4-635-1） ②「狂画五十三驛之一枚/關/一休禅師地蔵尊かいげんのづ」（ユ3-234）1枚	2
松江歴史館	「祝・国宝指定　松江城天守再発見展」	H27.9.19～10.4	「御城内惣間数（出雲国松江松平家文書）」（24H/00107）	1
奈良県立万葉文化館	特別展「見る・知る-万葉と飛鳥-　～飛鳥と春日大社の宝物」	H27.10.31～12.13	「春日懐紙」（99-87-13、14、19、20、21、22、4、5）　8枚	1

資料13：図書資料受入統計（平成25年度～平成27年度）

			点数				冊数等			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	累積	平成25年度	平成26年度	平成27年度	累積
収集マイクロ資料	マイクロフィルム	日本文学	834	1,556	1,465	192,096	287	350	183	42,254
		歴　史	0	1	0	202	0	46	0	6,308
	マイクロフィッシュ	日本文学	0	0	0	16,667	0	0	0	57,358
	紙焼写真本	日本文学	–	–	–	–	0	0	0	75,122
		歴　史	–	–	–	–	0	0	0	11,196
図書	写本・版本		1,128	1,595	1,212	17,538	2,571	4,074	2,583	58,709
	活字本・影印本等		–	–	–	–	5,229	4,018	3,921	183,862
	逐次刊行物		2,007	1,971	1,514	8,909	–	–	–	–
所蔵史料			19	5	3	487	–	–	–	約520,000点
寄託資料・寄託史料		日本文学	1	1	0	9	1	1	0	9,440
		歴　史	0	0	1	18	0	0	0	7,230

※平成27年度受入の写本・版本・活字本・影印本のうち寄贈は3,290冊

資料１４：新たに指定された貴重書及び特別コレクション（平成２５年度～平成２７年度）

＜貴重書、特別コレクションの指定の考え方＞

主に新規受入した資料から、教員等の推薦により、『人間文化研究機構国文学研究資料館貴重書及特別コレクション指定要項』に基づき、図書資料委員会で審議し、決定する。

＜貴重書＞

年度	請求記号	書名等
25	99:174	住吉社歌合切(写、1軸)
25	99:175	尼崎切　伝源俊頼筆(尼崎本万葉集断簡)(写、1軸)
25	99:176	中尊寺経妙法蓮華経巻第五(写、1軸)
25	99:177	大般若波羅蜜多経　巻四百五(写、1帖)
25	99:178	教化之文章(写、1冊)
25	99:179	源氏小鏡(刊、3冊)
25	99:180	大般若波羅蜜多経　巻三百八十一(写、1帖)
25	99:181	奈良絵本うつほ物語(写、3帖)
25	99:182	伝源俊頼筆　拾遺抄切(写、1軸)
25	99:183	春日懐紙(写、5枚)
25	99:184	源氏物語(写、45冊)
25	99:185	奈良絵本うらしま(写、1軸)
25	99:186	理趣釈経:仁海僧正自筆(写、1冊)
25	99:187	狂言絵(写、60枚)
25	99:188	酒茶論(刊、1冊)
25	99:189	嵯峨本三十六歌仙(刊、1冊)
25	99:190	平家物語(残巻)(写、3冊)
26	99:191	伊曽保物語(古活字版、3冊)
26	99:192	ふんしやう(写、3軸)
26	99:193	富士の人あな(写、3冊)
26	99:194	奈良絵本一本きく(写、3冊)
26	99:195	奈良絵本水宮けい(写、1帖)
26	99:196	春日懐紙縁弁和歌三首懐紙(写、1軸)
26	99:197	四種類聚抄(写、1巻)
26	99:198	奈良絵本二十四孝図(写、1冊)

27	99:199	庭訓往来抄
27	99:200	立川普済寺版　大方仏華厳経
27	99:201	筆陳
27	99:202	万葉集断簡（柘枝切）
27	99:203	古今私秘聞

＜特別コレクション＞

年度	請求記号	コレクション名等
26	22	山鹿文庫（1，321点）
27	98	鉄心斎文庫（1，088点）

【参考：その他平成25年度～平成27年度受入の（一般）コレクション（抜粋）】

年度	請求記号	コレクション名等
26	60	古文真宝コレクション（林望旧蔵）（610点）
27	61	三体詩コレクション（林望旧蔵）（118点）

人間文化研究機構国文学研究資料館貴重書及び特別コレクション指定要項

平成１６年７月２９日制定

人間文化研究機構国文学研究資料館における貴重書及び特別コレクションの指定は、次の基準による。

Ｉ．貴重書

１．和書

イ）刊本

（１）慶長以前に印刷されたもの

（２）元和以降に印刷されたもののうち、伝本が少ない等により資料的価値があると認められるもの

（３）元和以降に印刷されたもののうち、名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの

（４）元和以降に印刷された図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもので、稀本と認められるもの

ロ）写本

（１）慶長以前に書写されたもの

（２）元和以降に書写されたもののうち、伝本が少ない等により資料的価値があると認められるもの

（３）名家自筆の稿本及び短冊、書幅、書簡の類

（４）名家手写本のうち、特に資料的価値があると認められるもの

（５）名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの

（６）図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもの

２．中国書、洋書等

和書の基準に準ずるもの

３．次に掲げるもののうち、特に資料又は芸術的価値があると認められるもので、稀少なもの

（１）浮世絵版画、摺物絵又は双六類

（２）拓本類

（３）古地図

（４）その他一枚物

４．その他、貴重書に該当すると認められるもの

Ⅱ．特別コレクション

集書として一括して取り扱うもののうち、次に掲げるもの

（１）特定のコレクション等で資料的価値の高いもの

（２）一括して取り扱うことによって資料的価値の生ずるの

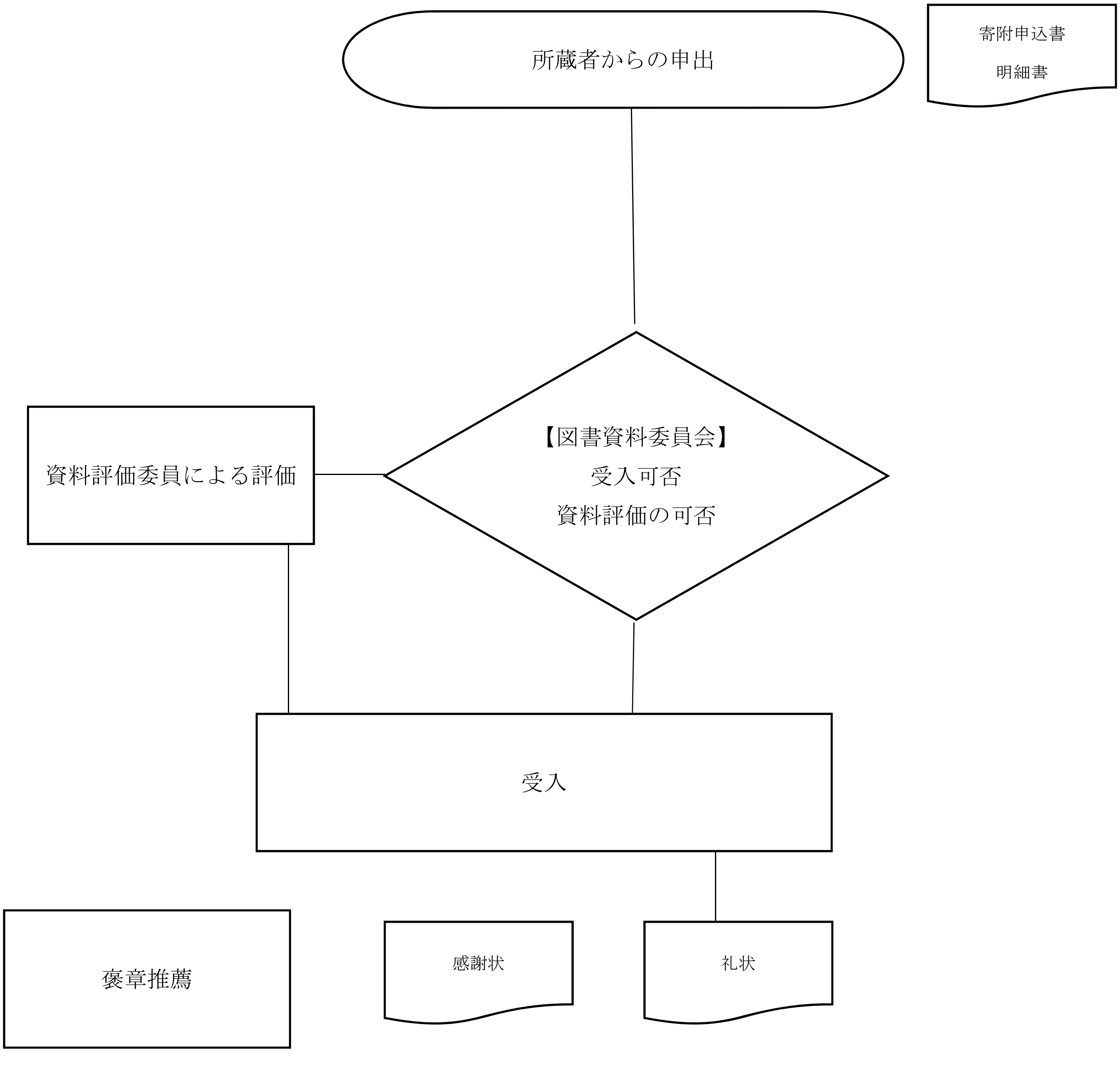
（３）その他、特別コレクションに該当すると認められるもの

附　則

この要項は、平成１６年４月１日から施行する。

資料１５：寄贈・寄託の受入体制

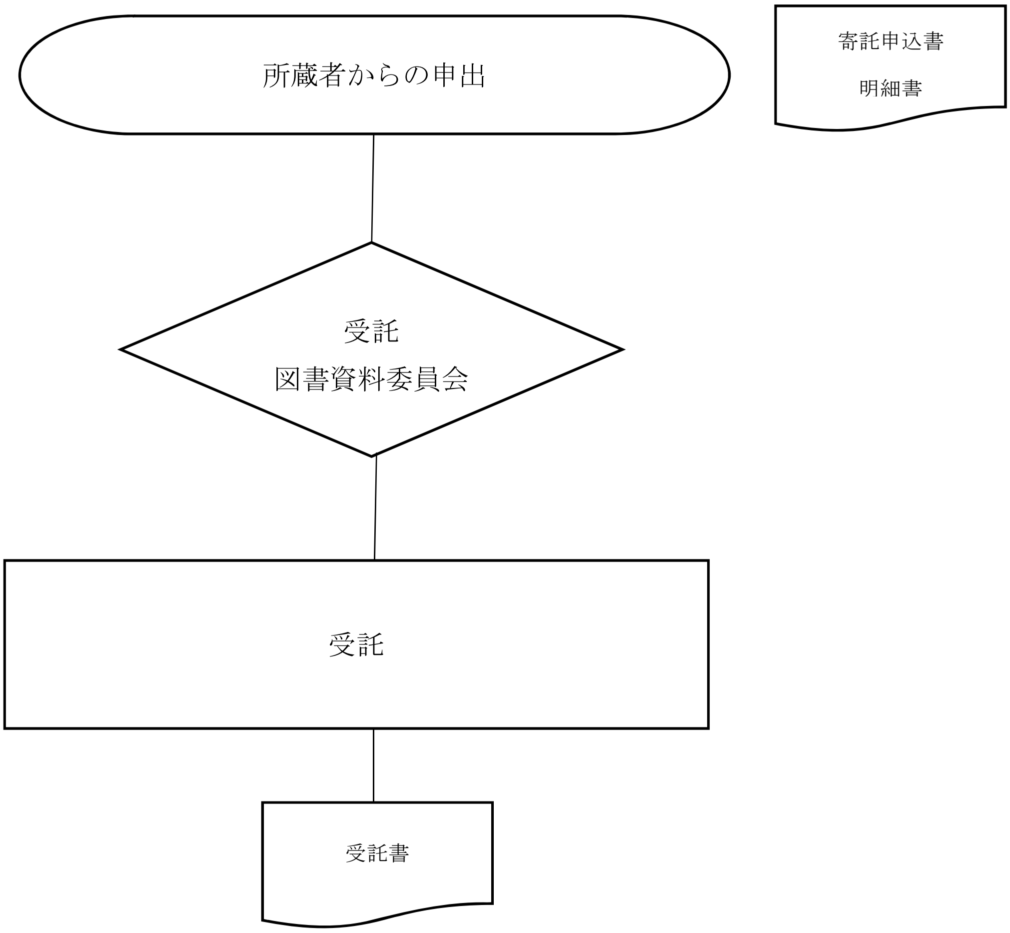
＜寄贈＞



＜参考：平成２５年度～平成２７年度に寄贈された資料（抜粋）＞

年度	資料名
２６	山鹿文庫
２７	鉄心斎文庫

＜寄託＞



＜参考：平成 25 年度～平成 27 年度に新たに受託した資料＞

年度	資料名
２７	山鹿家資料「配所残筆」
２７	舟橋家文書

平成 24 年 2 月 16 日
第 8 回図書資料委員会

資料受贈の基準について
（図書資料委員会申し合わせ）

資料寄贈の申し出があった場合は、下記のことを目安とし、図書資料委員会で受け入れについて審議し、審議結果を館長に報告し決定する。

記

１．予算の裏付け、保管場所確保の目処があること。
２．「研究対象資料」（古典籍・近代原本・文書記録類）は以下により受け入れを決定する。
（１）当館が行う研究のための資料収集の範囲であること。
（２）原則として教員が窓口となり、受入審議に必要な調査を行う。
（３）近代原本の受け入れは原則として１９７０年以前の資料を目安とし、これ以降のものについては、資料としての価値が高いと委員会が判断したものを受け入れることができる。
（４）文書記録類（主として近世のもの）については、現地において管理・保存が困難であり、かつ歴史資料としての価値が高いと委員会が判断したものを受け入れることができる。
３．「一般図書」（研究書・参考書・雑誌等）については特に必要な場合にのみ受け入れる。
（１）館に所蔵が無く、当館の蔵書として有用な資料であること。
（２）受け入れの可否を１点毎に判断するため、原則として所蔵者による書目リスト添付を条件とする。
（３）日常的な郵送等による寄贈については委員会の審議を省略することができる。

人間文化研究機構国文学研究資料館資料評価実施規程

平成１６年１１月２５日
規程第３　８　号
改正　平成１９年　３月３０日
改正　平成２７年　６月１１日

（趣旨）

第１条　人間文化研究機構国文学研究資料館（以下「当館」という。）における資料評価の実施に関し、必要な事項を定める。

（資料の定義）

第２条　この規程における「資料」とは、当館図書館利用規則第２条に規定するものをいう。

（資料の評価）

第３条　館長は、次に該当する資料について、必要の都度第６条に定める評価委員により評価を求めるものとする。

（１）当館で購入しようとする資料
（２）寄贈の申し出があった資料のうち図書資料委員会が評価を必要と認めた資料
（３）その他、館長が評価を必要と認めた資料

（評価の省略）

第４条　前条の規定にかかわらず、次に該当する資料は、評価委員による評価を省略することができる。

（１）資料所有者等の売渡申出価格が１００万円未満の資料
（２）適正な評価機関の評価書のある資料で、資料所有者等の売渡申出価格が１００万円以上３００万円未満の資料
（３）定価が設定されている資料（古書を除く。）

（評価を求める資料の単位）

第５条　評価を求める資料の単位は、１点（件、冊、揃）又は１コレクション全体とし、分割することができないもの、若しくは分割することにより資料の価値を大きく損なう恐れがあるものは、一括し１単位とする。

（評価委員）

第６条　評価委員は、次に掲げる区分に応じ、当該資料について専門的知識を有し、かつ、利害関係を有しない館内又は館外の者のうちから館長が指名又は委嘱する。

（１）評価書のある資料で、売渡申出価格が５００万円以上の場合は、館内３人以上及び館外２人以上

（２）評価書のある資料で、売渡申出価格が３００万円以上５００万円未満の場合は、館内５人以上
（３）評価書のない資料で、売渡申出価格が３００万円以上の場合は、館内３人以上及び館外２人以上
（４）評価書のない資料で、売渡申出価格が１００万円以上３００万円未満の場合は、館内５人以上
（５）寄贈の場合で、図書資料委員会の判断により第９条に規定する評価額が５００万円以上と見込まれる場合は、館内３人以上及び館外２人以上
（６）寄贈の場合で、図書資料委員会の判断により第９条に規定する評価額が５００万円未満と見込まれる場合は、館内５人以上。ただし、必要に応じて館外者を含めることができる。

（評価委員の任期）
第７条　評価委員の任期は、指名又は委嘱されたときから、当該資料の評価が終了し、その結果を館長に報告したときまでとする。

（評価委員の任務）
第８条　評価委員は、館長の求めに応じ、原則として当館において当該資料の評価を行うものとする。
２　評価委員は、当該資料について、それぞれ独自に価格評価を行い、その評価結果を価格評価報告書（別紙様式）により、館長に報告するものとする。
３　評価委員は、評価結果を第三者に漏らしてはならない。

（評価額の決定）
第９条　評価額は、各評価委員の評価価格のうち、最高及び最低の価格を除き、その平均額の千円未満を切り捨てて得た額とする。
２　前項に規定する最高又は最低の評価価格が同額で２つ以上ある場合は、それぞれ１つの評価価格を除くものとする。

（事務）
第 10 条　この規程に関する事務は、管理部学術情報課において処理する。

（その他）
第 11 条　この規程によりがたい特別の事情がある場合は、館長がその都度関係者と協議して処理するものとする。

附　則
この規程は平成１６年４月１日から施行する。

附　則
この規程は平成１９年４月１日から施行する。

附　則
この規程は平成２７年７月１日から施行する。

人間文化研究機構国文学研究資料館資料受託規程

平成１６年７月２９日
規程第３　０　号
改正平成１９年３月３０日

（趣旨）

第１条　人間文化研究機構国文学研究資料館（以下「当館」という。）は、日本文学に関する文献資料又は歴史に関する記録史料（以下「資料」という。）の所有者から寄託の申し出があったときは、この規程の定めるところにより処理するものとする。

（寄託の手続等）

第２条　資料を寄託しようとする者（以下「所有者」という。）は、本規程の内容を熟知の上、館長に資料寄託申込書（別紙様式第１号）を提出する。

２　館長は、前項の承認の可否を決定するに当たっては、あらかじめ図書資料委員会の意見を求めるものとする。

（受託書）

第３条　当館は、資料を受領したときは所有者に受託書（別紙様式第２号）を交付する。

（受託期間）

第４条　当館が資料を受託する期間（以下「受託期間」という。）は、原則として３年とする。ただし、所有者からの申し出があり、当館において特別の事情があると認めたときは、受託期間を短縮することができる。

（寄託事項の変更）

第５条　所有者（所有者が変わったときは新所有者）は、資料寄託申込書の記載内容に変更が生じた場合は、寄託事項変更届（別紙様式第３号）により、その変更を証明する書類を受託書に添えて、受託書の書き換えを受けなければならない。

（受託書の再交付）

第６条　所有者は、受託書を亡失し、又は著しくき損したときは、速やかに受託書再交付申込書（別紙様式第４号）を提出し、再交付を受けなければならない。

（受託の更新）

第７条　受託期間が満了しても、所有者が寄託を希望する場合には、受託期間満了の３０日前までに所有者から申し出させるものとする。申し出に基づき図書資料委員会において審議の後、館長が必要と認めた場合に限り、受託を更新することができる。

２　前項により、受託の更新があったときは、当館は第３条の定めるところに準じ、旧受託書と引き換え

に新たに受託書を交付する。

（返還）

第８条　当館は、受託期間満了その他の理由により受託資料を返還しようとするときは、受託資料返還通知書（別紙様式第５号）（以下「返還通知書」という。）により、所有者に通知する。

２　前項の通知を受けた所有者は、返還通知書所定の期日に、受託書と引き替えに寄託資料の引き渡しを受けなければならない。引き渡しを受けない場合は、その期日の翌日から当館は保管の責を負わないものとする。

３　寄託資料の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、所有者の委任状を添えるものとする。

（期間満了前の引き渡し）

第９条　所有者は、受託期間満了前に寄託資料の返還を受けようとするときは、引き渡しを受けようとする日の３０日前までに寄託資料返還申込書（別紙様式第６号）に受託書(写)を添えて、館長に提出し、承認を受けなければならない。

２　前項により、受託期間満了前に受託資料を所有者に返還する場合には、引き渡す１５日前までに返還通知書により所有者に通知する。

（一時返還）

第 10 条　所有者は、祭典、法要、修理その他特別な事由により寄託資料の一時返還を受けようとするときは、引き渡しを受けようとする日の３０日前までに寄託資料一時返還申込書（別紙様式第７号）に受託書（写）を添えて、館長に提出し、承認を受けなければならない。

２　前項により当館が受託資料を一時返還する場合には、前条第２項に準じて行うものとする。

（経費の負担）

第 11 条　所有者は、寄託資料の寄託及び返還（一時返還を含む。）時の梱包及び運搬等に要する経費を負担しなければならない。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合はこの限りではない。

（修理）

第 12 条　当館が受託資料の修理を必要と認めたときは、所有者の同意を得て修理することができるものとする。

２　前項の修理に要する経費は、当館が負担する。

（利用等）

第 13 条　当館は、受託資料を他の当館所蔵資料と同様に利用することができる。ただし、保存に影響を及ぼす行為又は複製物の二次使用をしようとするときは、あらかじめ所有者の同意を得なければならない。

２　第三者が前項の行為を行う場合は、所有者の同意文書（様式任意）を添えて、当館に申し込むものと

する。

（責任）
第 14 条　当館は、保管中の受託資料を当館所蔵資料と同等に取り扱うものとし、資料が滅失又はき損した場合は、一切の責を負わないものとする。

（事務）
第 15 条　この規程に定める事務は、管理部学術情報課において処理する。

（その他）
第 16 条　この規程に定めるもののほか、この規程に必要な事項は館長が別に定める。

附　則
この規程は、平成１６年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成１９年４月１日から施行する。

資料１６：資料保存環境について

<概要>

書庫・収蔵庫については、外気に近い温湿度の閲覧室と、出納のたびに温度変化が激しいのは資料にとって負担になることから、湿度のみ制御（５０％）をしている。

永久保管用マイクロフィルムについては、温度・湿度とも一定（18 度、25%）に制御された専用の保管庫で保存をしている。

データロガーを１５箇所に設置し、温湿度を計測している。４週間毎にデータの収集を行っている。また、害虫トラップ（ゴキブリ・インジケータ、フェロモントラップ）を１６０箇所に設置。年４回収集し、監視を続けている。

１　記録類の保存措置・修復処置

史料目録刊行済み史料について、閲覧用ラベル貼付、中性紙封筒・帙・箱等への収納、状態調査記録作成、虫損。剥離箇所への部分修復処置等を行っている。

<平成２５年度>12,924 点（「信濃国松代真田家文書」「信濃国松代伊勢町八田家文書」「武蔵国多摩郡和田村石坂家文書」）

<平成２６年度>6,803 点（「信濃国松代伊勢町八田家文書」「武蔵国多摩郡和田村石坂家文書」）

<平成２７年度>7,449 点（「信濃国松代伊勢町八田家文書」「武蔵国多摩郡和田村石坂家文書」「出羽国村山郡山家村山口家文書」）

その他、必要に応じて別置分の組込、中性紙封筒・箱等への入替、部分修復処置等を行っている。

<平成２５年度>800 点（「越中国新川郡吉島村新保家文書」「摂津国大坂玉水町加嶋屋長田家文書」ほか）

<平成２６年度>585 点（「信濃国松代真田家文書」「出羽国村山郡山家村山口家文書」ほか）

<平成２７年度>1,228 点（「信濃国松代真田家文書」「大平善悟関係文書」ほか）

２　古典籍原本の保存措置・修復処置

虫損が甚だしく閲覧・撮影が困難な資料には補修を行っている。平成２５年度～平成２７年度は高乗文庫について補修専門家に依頼を行っている。

<平成２５年度>『雲霞集』ほか９点 10 冊

<平成２６年度>『千載和歌集』ほか４点９冊

<平成２７年度>『年中行事鈔』ほか３点９冊

検索のべ数とアクセス元IPアドレス異なり数 （2016 年 6 月～11 月）

	検索のべ数	ＩＰアドレス 異なり数	電子情報室 H28 年度予算
国文学論文目録	230,694	23,179	4,429 千
日本古典籍総合目録/館蔵和古書目録	320,507	18,844	2,531 千
日本古典資料調査	4,864	1,133	2,278 千
近代書誌・近代画像	18,117	2,396	
収蔵歴史アーカイブズ	12,277	1,927	1,331 千
古典選集本文	17,518	1,806	
コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録	492	132	
明治期出版広告	6,351	1,394	
歴史人物画像	12,690	4,197	
連歌・演能・雅楽	5,143	433	
古事類苑	6,487	1,244	
地下家伝・芳賀人名辞典	1,784	346	
古筆切所収情報	2,147	293	
蔵書印	31,231	2,023	
アーカイブズ学文献	986	233	
日本実業史博物館コレクション	1,303	270	
館蔵社寺明細帳	5,677	361	
伊豆韮山江川家文書	952	184	
増田太次郎広告コレクション	426	77	

データベース国別アクセス数

国文学論文目録DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	152,205	日本	JP	2,003,528	日本	JP	1,879,798
(館内)	local	9,592	(館内)	local	125,925	(館内)	local	102,603
中国	CN	5,350	中国	CN	30,152	中国	CN	24,039
大韓民国	KR	4,688	大韓民国	KR	29,039	大韓民国	KR	20,652
アメリカ合衆国	US	1,889	アメリカ合衆国	US	13,075	アメリカ合衆国	US	13,359
台湾	TW	1,268	台湾	TW	8,252	台湾	TW	5,810
オーストリア	AT	432	イギリス	GB	2,045	オランダ	NL	1,144
オランダ	NL	220	オーストリア	AT	1,828	イギリス	GB	938
イタリア	IT	163	イタリア	IT	1,374	タイ	TH	699
フランス	FR	147	オランダ	NL	1,298	フランス	FR	678
ドイツ	DE	102	フランス	FR	1,097	ドイツ	DE	627
カナダ	CA	89	ドイツ	DE	798	イタリア	IT	494
イギリス	GB	87	カナダ	CA	679	ロシア連邦	RU	384
マカオ	MO	63	タイ	TH	409	カナダ	CA	319
香港	HK	50	ノルウェー	NO	380	香港	HK	252
ハンガリー	HU	36	チェコ	CZ	287	オーストラリア	AU	244
サウジアラビア	SA	24	香港	HK	283	オーストリア	AT	120
スイス	CH	19	ロシア連邦	RU	212	ブラジル	BR	112
シンガポール	SG	18	ブラジル	BR	160	チェコ	CZ	95
タイ	TH	18	オーストラリア	AU	112	ベトナム	VN	57
インドネシア	ID	17	サウジアラビア	SA	92	エジプト	EG	51
			シンガポール	SG	67	サウジアラビア	SA	48
			インド	IN	59	イスラエル	IL	45
			ウクライナ	UA	47	モンゴル	MN	39
			スウェーデン	SE	41	トルコ	TR	39
			スペイン	ES	38	ハンガリー	HU	38
			ハンガリー	HU	38	フィリピン	PH	38
			インドネシア	ID	38	シンガポール	SG	36
			スロバキア	SK	36	ウクライナ	UA	36
			ウズベキスタン	UZ	35	ポーランド	PL	34
			モロッコ	MA	34	スペイン	ES	29
			イスラエル	IL	24	アイルランド	IE	22
			デンマーク	DK	23	ポルトガル	PT	22
			エジプト	EG	20	フィンランド	FI	20
			フィンランド	FI	20	スイス	CH	19
			ルーマニア	RO	20	ノルウェー	NO	19
			トルコ	TR	20	ニュージーランド	NZ	19
			ベルギー	BE	19	インドネシア	ID	18
			チリ	CL	19	インド	IN	18
			セルビア	RS	19	アイスランド	IS	18
			スイス	CH	18	マカオ	MO	18
			イラン	IR	18	ネパール	NP	18
			マレーシア	MY	18	ベルギー	BE	13
			ポーランド	PL	18	グルジア	GE	8
			ミャンマー	MM	17	マレーシア	MY	5
			ポルトガル	PT	15	ベラルーシ	BY	3
			ベトナム	VN	12	ベネズエラ	VE	3
			スロベニア	SI	6		不明	3
				不明	3	スウェーデン	SE	2
			ヨーロッパ連合	EU	1	アゼルバイジャン	AZ	1
						ギリシャ	GR	1
						カザフスタン	KZ	1
						ラトビア	LV	1

日本古典籍総合目録DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	1,299,429	日本	JP	1,306,904	日本	JP	1,181,047
(館内)	local	59,599	アメリカ合衆国	US	39,130	アメリカ合衆国	US	38,753
アメリカ合衆国	US	34,493	(館内)	local	32,483	(館内)	local	26,095
イギリス	GB	8,817	イギリス	GB	12,103	イギリス	GB	9,492
大韓民国	KR	6,760	大韓民国	KR	7,564	ドイツ	DE	5,405
ドイツ	DE	6,071	ドイツ	DE	6,317	中国	CN	5,369
中国	CN	5,380	中国	CN	6,243	大韓民国	KR	5,180
オランダ	NL	4,109	台湾	TW	4,789	台湾	TW	4,307
フランス	FR	3,255	オランダ	NL	3,950	オーストラリア	AU	3,341

台湾	TW	2,979	イタリア	IT	2,713	オランダ	NL	2,966
ロシア連邦	RU	1,331	フランス	FR	2,221	フランス	FR	2,626
香港	HK	1,036	スペイン	ES	1,787	イタリア	IT	1,729
イタリア	IT	934	カナダ	CA	1,217	香港	HK	1,041
デンマーク	DK	661	香港	HK	822	ロシア連邦	RU	831
カナダ	CA	617	ロシア連邦	RU	719	カナダ	CA	806
ノルウェー	NO	576	ノルウェー	NO	640	スペイン	ES	377
スペイン	ES	362	ニュージーランド	NZ	492	ベトナム	VN	373
ニュージーランド	NZ	307	ベトナム	VN	424	ノルウェー	NO	286
オーストラリア	AU	296	ベルギー	BE	377	スイス	CH	241
オーストリア	AT	186	オーストラリア	AU	340	ブラジル	BR	219
スウェーデン	SE	178	ポルトガル	PT	285	ハンガリー	HU	167
ベルギー	BE	123	デンマーク	DK	247	ニュージーランド	NZ	141
フィンランド	FI	118	タイ	TH	240	オーストリア	AT	126
イスラエル	IL	81	マレーシア	MY	208	ベルギー	BE	117
インド	IN	79	オーストリア	AT	119	デンマーク	DK	117
ベトナム	VN	62	スイス	CH	91	ウクライナ	UA	112
メキシコ	MX	48	ルクセンブルク	LU	74	ポーランド	PL	108
タイ	TH	48	フィンランド	FI	71	タイ	TH	106
シンガポール	SG	42	シンガポール	SG	71	マレーシア	MY	53
スイス	CH	40	ポーランド	PL	64	イスラエル	IL	51
チェコ	CZ	37	スロベニア	SI	64	シンガポール	SG	47
ウクライナ	UA	36	イスラエル	IL	63	ポルトガル	PT	45
マカオ	MO	31	ヨーロッパ連合	EU	50	エストニア	EE	31
アルゼンチン	AR	30	チェコ	CZ	48	フィンランド	FI	30
リトアニア	LT	27	メキシコ	MX	41	インドネシア	ID	29
ドミニカ共和国	DO	26	インド	IN	33	フィリピン	PH	29
ポルトガル	PT	25	ブラジル	BR	28	ルクセンブルク	LU	28
ルクセンブルク	LU	19	ルーマニア	RO	20	カンボジア	KH	27
マレーシア	MY	19	フィリピン	PH	16	グリーンランド	GL	24
トルコ	TR	19	ウクライナ	UA	16	チェコ	CZ	21
ブラジル	BR	15	スリランカ	LK	15	スロベニア	SI	18
インドネシア	ID	14	ベラルーシ	BY	14	アイルランド	IE	17
クロアチア	HR	13	カザフスタン	KZ	14	スウェーデン	SE	17
カンボジア	KH	13	ケニア	KE	13	イラン	IR	15
スリランカ	LK	13	プエルトリコ	PR	13	リトアニア	LT	15
マケドニア	MK	13	スウェーデン	SE	6	シリア	SY	15
エルサルバドル	SV	13	トルコ	TR	6	アルジェリア	DZ	14
トリニダード・トバ:	TT	13	ミャンマー	MM	5	インド	IN	14
イラク	IQ	6	アイルランド	IE	3	ジャマイカ	JM	14
エストニア	EE	5	赤道ギニア	GQ	2	スリランカ	LK	14
エジプト	EG	5	アルゼンチン	AR	1	パナマ	PA	14
グルジア	GE	5	ブルガリア	BG	1	パキスタン	PK	14
ベラルーシ	BY	4	ハンガリー	HU	1	ベラルーシ	BY	13
カザフスタン	KZ	4	イラク	IQ	1	チリ	CL	13
ブルガリア	BG	3	ラトビア	LV	1	ケニア	KE	13
ハンガリー	HU	3	モロッコ	MA	1	マカオ	MO	8
ルーマニア	RO	3	サウジアラビア	SA	1	リベリア	LR	2
フィリピン	PH	2				モーリタニア	MR	2
チュニジア	TN	2				ブルガリア	BG	1
ボスニア・ヘルツ:	BA	1				ルーマニア	RO	1
バーレーン	BH	1						
キュラサオ島	CW	1						
ガイアナ	GY	1						
レバノン	LB	1						
ラトビア	LV	1						
モルドバ	MD	1						
ナイジェリア	NG	1						
パレスチナ	PS	1						
イエメン	YE	1						
南アフリカ共和国	ZA	1						

日本古典資料調査DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	101,587	日本	JP	109,102	日本	JP	137,162
（館内）	local	9,792	（館内）	local	18,828	アメリカ合衆国	US	23,776
中国	CN	2,396	アメリカ合衆国	US	12,095	（館内）	local	10,097
アメリカ合衆国	US	2,207	大韓民国	KR	3,071	中国	CN	2,401
大韓民国	KR	1,286	中国	CN	3,040	大韓民国	KR	2,107

台湾	TW	712	台湾	TW	1,200	台湾	TW	1,930
ドイツ	DE	638	ドイツ	DE	361	香港	HK	279
オランダ	NL	503	オランダ	NL	302	ドイツ	DE	186
香港	HK	300	香港	HK	239	イギリス	GB	177
デンマーク	DK	221	イギリス	GB	192	フランス	FR	146
イギリス	GB	108	フランス	FR	189	オランダ	NL	97
オーストリア	AT	70	デンマーク	DK	135	カナダ	CA	79
フランス	FR	56	イタリア	IT	111	ブラジル	BR	60
イタリア	IT	28	シンガポール	SG	75	オーストリア	AT	49
ロシア連邦	RU	27	カナダ	CA	60	デンマーク	DK	48
カナダ	CA	24	ロシア連邦	RU	59	ロシア連邦	RU	44
インドネシア	ID	19	マレーシア	MY	33	イタリア	IT	41
スウェーデン	SE	19	スウェーデン	SE	25	エストニア	EE	39
ニュージーラント	NZ	4	ポーランド	PL	24	オーストラリア	AU	36
グルジア	GE	3	ブラジル	BR	18	ベラルーシ	BY	33
タイ	TH	3	スイス	CH	17	マカオ	MO	30
ハンガリー	HU	1	スペイン	ES	16	チリ	CL	20
イスラエル	IL	1	インド	IN	16	ハンガリー	HU	20
ルーマニア	RO	1	ラトビア	LV	16	ベルギー	BE	16
ウクライナ	UA	1	インドネシア	ID	14	モンテネグロ	ME	16
			タイ	TH	9	マレーシア	MY	16
			ルーマニア	RO	2	ポーランド	PL	15
			ウクライナ	UA	2	シンガポール	SG	15
			チェコ	CZ	1	ベトナム	VN	15
			ヨーロッパ連合	EU	1	スイス	CH	14
							不明	3
						イスラエル	IL	1

近代書誌・近代画像DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
アメリカ合衆国	US	1,102,552	アメリカ合衆国	US	1,203,274	日本	JP	1,595,532
日本	JP	798,019	日本	JP	1,056,187	アメリカ合衆国	US	931,748
（館内）	local	96,354	（館内）	local	159,926	（館内）	local	37,190
オランダ	NL	36,279	中国	CN	29,770	大韓民国	KR	30,310
中国	CN	34,016	大韓民国	KR	25,205	中国	CN	29,397
大韓民国	KR	21,341	ロシア連邦	RU	16,456	台湾	TW	13,421
ドイツ	DE	6,906	台湾	TW	13,361	ドイツ	DE	3,209
台湾	TW	5,424	オランダ	NL	8,287	フランス	FR	3,054
香港	HK	2,460	フランス	FR	7,431	香港	HK	3,046
フランス	FR	2,041	ドイツ	DE	6,864	イギリス	GB	2,692
ウクライナ	UA	1,969	香港	HK	3,000	ロシア連邦	RU	2,324
イギリス	GB	1,866	カナダ	CA	1,831	カナダ	CA	1,597
ロシア連邦	RU	1,173	イギリス	GB	1,561	イタリア	IT	1,524
ノルウェー	NO	821	タイ	TH	733	オーストラリア	AU	1,091
カナダ	CA	328	オーストラリア	AU	547	タイ	TH	951
チェコ	CZ	274	イタリア	IT	533	オランダ	NL	940
トルコ	TR	256	チェコ	CZ	471	スペイン	ES	721
オーストラリア	AU	236	ブラジル	BR	405	ベルギー	BE	593
マレーシア	MY	222	デンマーク	DK	329	スイス	CH	494
ポーランド	PL	213	ハンガリー	HU	327	ベトナム	VN	477
スイス	CH	174	マカオ	MO	289	ウクライナ	UA	446
オーストリア	AT	164	インド	IN	239	ブラジル	BR	415
シンガポール	SG	139	フィリピン	PH	191	ポーランド	PL	369
イタリア	IT	125	ノルウェー	NO	189	ハンガリー	HU	296
タイ	TH	99		不明	187	シンガポール	SG	279
ベルギー	BE	94	スイス	CH	180	オーストリア	AT	267
	不明	92	ニュージーランド	NZ	178	インドネシア	ID	167
アイルランド	IE	74	シンガポール	SG	161	スウェーデン	SE	150
ブラジル	BR	70	オーストリア	AT	156	コートジボアール	CI	140
マカオ	MO	63	ベルギー	BE	138	フィンランド	FI	138
カザフスタン	KZ	58	フィンランド	FI	130	フィリピン	PH	138
リトアニア	LT	45	スペイン	ES	123	スロバキア	SK	107
スペイン	ES	32	スウェーデン	SE	92		不明	83
アルゼンチン	AR	26	マレーシア	MY	90	チェコ	CZ	77
スロベニア	SI	21	ウクライナ	UA	72	グアム	GU	65
インドネシア	ID	20	ポーランド	PL	67	ポルトガル	PT	58
スウェーデン	SE	18	ポルトガル	PT	62	アンゴラ	AO	57
ベトナム	VN	18	インドネシア	ID	58	マカオ	MO	57
インド	IN	16	ベトナム	VN	50	マレーシア	MY	57

スリランカ	LK	12	アイルランド	IE	40	エジプト	EG	53
フィリピン	PH	12	アゼルバイジャン	AZ	27	トルコ	TR	53
ニュージーランド	NZ	8	ペルー	PE	25	コロンビア	CO	52
グルジア	GE	3	アルゼンチン	AR	23	ニュージーランド	NZ	50
デンマーク	DK	2	ブルガリア	BG	23	アイルランド	IE	48
ルーマニア	RO	1	アイスランド	IS	21	ギリシャ	GR	45
			スロバキア	SK	3	イラン	IR	41
			モルドバ	MD	1	リトアニア	LT	37
						ブルガリア	BG	31
						ルクセンブルク	LU	31
						パキスタン	PK	29
						チリ	CL	28
						メキシコ	MX	28
						イスラエル	IL	27
						ノルウェー	NO	27
						エクアドル	EC	24
						アラブ首長国連邦	AE	22
						パラグアイ	PY	20
						セルビア	RS	20
						インド	IN	15
						アルゼンチン	AR	14
						デンマーク	DK	14
						モンゴル	MN	13
						スリランカ	LK	11
						モロッコ	MA	7
						モルドバ	MD	5
						ヨーロッパ連合	EU	3
						バングラデシュ	BD	1

明治期出版広告DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	66,590	日本	JP	76,857	日本	JP	80,553
アメリカ合衆国	US	50,235	アメリカ合衆国	US	51,048	アメリカ合衆国	US	67,240
（館内）	local	9,270	（館内）	local	5,506	（館内）	local	3,298
中国	CN	1,617	大韓民国	KR	2,077	大韓民国	KR	1,936
台湾	TW	1,214	中国	CN	1,649	中国	CN	1,410
大韓民国	KR	1,134	台湾	TW	1,546	台湾	TW	1,081
オーストラリア	AU	264	ドイツ	DE	445	ドイツ	DE	554
イギリス	GB	238	フランス	FR	242	フランス	FR	308
ドイツ	DE	215	オーストラリア	AU	208	オーストラリア	AU	278
ノルウェー	NO	143	香港	HK	204	イギリス	GB	233
オランダ	NL	128	オランダ	NL	57	香港	HK	205
香港	HK	121	アラブ首長国連邦	AE	54	イタリア	IT	175
ニュージーランド	NZ	116	フィンランド	FI	50	ロシア連邦	RU	175
フランス	FR	115	チェコ	CZ	50	カナダ	CA	61
ロシア連邦	RU	83	インド	IN	42	フィンランド	FI	33
	不明	57	スペイン	ES	42	インド	IN	32
デンマーク	DK	45	イタリア	IT	37	スペイン	ES	32
カナダ	CA	32	ロシア連邦	RU	33	オランダ	NL	29
イタリア	IT	28	シンガポール	SG	32	イスラエル	IL	26
スウェーデン	SE	27	タイ	TH	32	ポーランド	PL	26
インド	IN	24		不明	27	デンマーク	DK	23
ハンガリー	HU	22	フィリピン	PH	21	トルコ	TR	23
コートジボアール	CI	22	モンゴル	MN	19		不明	23
アイルランド	IE	14	イギリス	GB	14	オーストリア	AT	22
タイ	TH	11	デンマーク	DK	9	ベルギー	BE	22
ベルギー	BE	6	カナダ	CA	7	ブルガリア	BG	22
ウズベキスタン	UZ	4				マレーシア	MY	22
グルジア	GE	4				スイス	CH	18
ウクライナ	UA	2				タイ	TH	14
ブラジル	BR	1				ベトナム	VN	11
モンゴル	MN	1				ブラジル	BR	8
メキシコ	MX	1				ノルウェー	NO	1
フィリピン	PH	1				メキシコ	MX	1
						フィリピン	PH	1
						ウクライナ	UA	1

歴史人物画像（古典キャラクター）DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		

国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	230,154	日本	JP	168,573	日本	JP	120,902
(館内)	local	3,743	中国	CN	22,424	中国	CN	19,494
大韓民国	KR	2,999	(館内)	local	14,122	(館内)	local	4,669
アメリカ合衆国	US	2,446	アメリカ合衆国	US	3,820	アメリカ合衆国	US	4,651
中国	CN	1,142	大韓民国	KR	1,087	大韓民国	KR	574
台湾	TW	446	台湾	TW	473	台湾	TW	533
香港	HK	164	オランダ	NL	265	香港	HK	308
オランダ	NL	140	香港	HK	215	オランダ	NL	221
ドイツ	DE	103	ドイツ	DE	188	イタリア	IT	99
ブラジル	BR	99	イギリス	GB	178	ロシア連邦	RU	94
イギリス	GB	87	カナダ	CA	134	ドイツ	DE	88
インドネシア	ID	59	オーストラリア	AU	126	フランス	FR	88
フランス	FR	55	フランス	FR	104	イギリス	GB	68
オーストラリア	AU	50	シンガポール	SG	92	オーストラリア	AU	57
カナダ	CA	30	ブラジル	BR	91	シンガポール	SG	54
タイ	TH	28	ブルガリア	BG	90	ブラジル	BR	51
スイス	CH	26	ロシア連邦	RU	71	チリ	CL	48
シンガポール	SG	26	オーストリア	AT	57	ハンガリー	HU	37
イタリア	IT	22	イタリア	IT	57	ベトナム	VN	35
イラン	IR	20	スペイン	ES	51	カナダ	CA	33
バーレーン	BH	19	インド	IN	43	ニュージーランド	NZ	31
フィリピン	PH	19	スイス	CH	36	オーストリア	AT	26
チェコ	CZ	18	ベルギー	BE	30	ベルギー	BE	20
マレーシア	MY	18	タイ	TH	29	スペイン	ES	20
ブルガリア	BG	16	ポルトガル	PT	20	ルクセンブルク	LU	19
スウェーデン	SE	16	ルーマニア	RO	18	タイ	TH	19
ラオス	LA	14	グアム	GU	17	マカオ	MO	18
コートジボアール	CI	13	トルコ	TR	17	ウクライナ	UA	18
ベトナム	VN	13	ベトナム	VN	17	マレーシア	MY	17
アイルランド	IE	9	マレーシア	MY	15	ウルグアイ	UY	14
ニュージーランド	NZ	8	チェコ	CZ	14	スイス	CH	13
ロシア連邦	RU	7	エクアドル	EC	13		不明	9
	不明	2	イラク	IQ	13	ヨーロッパ連合	EU	3
グルジア	GE	1	イラン	IR	13	スウェーデン	SE	2
ノルウェー	NO	1	マカオ	MO	13			
ウクライナ	UA	1	ノルウェー	NO	13			
			ニュージーランド	NZ	13			
			フィリピン	PH	13			
			スウェーデン	SE	4			
			デンマーク	DK	1			
			ポーランド	PL	1			

連歌・演能・雅楽DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	27,802	(館内)	local	48,239	日本	JP	24,381
(館内)	local	2,206	日本	JP	39,442	(館内)	local	17,946
アメリカ合衆国	US	1,417	アメリカ合衆国	US	2,124	アメリカ合衆国	US	1,367
大韓民国	KR	342	大韓民国	KR	372	中国	CN	278
中国	CN	282	中国	CN	365	台湾	TW	95
ドイツ	DE	225	ドイツ	DE	183	インドネシア	ID	67
オランダ	NL	144	オーストラリア	AU	120	フランス	FR	42
台湾	TW	60	フランス	FR	94	シンガポール	SG	32
オーストラリア	AU	30	ロシア連邦	RU	43	ドイツ	DE	28
ロシア連邦	RU	27	香港	HK	38	イギリス	GB	27
トルコ	TR	25	シンガポール	SG	33	香港	HK	25
イラン	IR	19	スイス	CH	29	大韓民国	KR	22
シンガポール	SG	18	台湾	TW	28	ポーランド	PL	17
イギリス	GB	17	オランダ	NL	22	タイ	TH	17
モロッコ	MA	17	フィンランド	FI	21	パプアニューギニ	PG	16
ベトナム	VN	17	イギリス	GB	21	オーストラリア	AU	10
ウクライナ	UA	10	ウクライナ	UA	21	ポルトガル	PT	8
香港	HK	9	イタリア	IT	10	ノルウェー	NO	4
デンマーク	DK	7	ポーランド	PL	8	ロシア連邦	RU	3
フランス	FR	5	ノルウェー	NO	6	カナダ	CA	2
グルジア	GE	3	カナダ	CA	5	イタリア	IT	2
カナダ	CA	2	ポルトガル	PT	5		不明	1
イタリア	IT	1	オーストリア	AT	3			
			スペイン	ES	3			
				不明	3			

コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	74,519	日本	JP	65,939	日本	JP	69,764
アメリカ合衆国	US	12,836	アメリカ合衆国	US	12,962	アメリカ合衆国	US	21,774
(館内)	local	8,010	(館内)	local	11,141	(館内)	local	5,054
イギリス	GB	1,935	中国	CN	9,423	イギリス	GB	2,092
中国	CN	1,723	イギリス	GB	4,408	中国	CN	1,080
香港	HK	1,388	ベルギー	BE	1,574	フランス	FR	890
デンマーク	DK	1,352	ノルウェー	NO	1,491	ドイツ	DE	883
オランダ	NL	1,306	ドイツ	DE	1,017	ベルギー	BE	570
ドイツ	DE	887	ロシア連邦	RU	965	ロシア連邦	RU	528
ノルウェー	NO	798	オランダ	NL	734	香港	HK	316
ロシア連邦	RU	431	デンマーク	DK	666	大韓民国	KR	236
フランス	FR	402	フランス	FR	490	タイ	TH	212
大韓民国	KR	268	イタリア	IT	209	台湾	TW	197
ベルギー	BE	245	リトアニア	LT	183	カナダ	CA	167
台湾	TW	176	ミャンマー	MM	180	デンマーク	DK	161
マレーシア	MY	155	大韓民国	KR	159	オランダ	NL	105
イタリア	IT	141	香港	HK	97	オーストラリア	AU	99
カナダ	CA	116	台湾	TW	89	ノルウェー	NO	88
スウェーデン	SE	88	カナダ	CA	77	イタリア	IT	86
ニュージーランド	NZ	80	オーストラリア	AU	76	マレーシア	MY	51
フィリピン	PH	41	スペイン	ES	69	インドネシア	ID	38
ウクライナ	UA	37	タイ	TH	69	フィンランド	FI	36
ベトナム	VN	25	ポーランド	PL	61	ブラジル	BR	34
フィンランド	FI	23	ベトナム	VN	57	シンガポール	SG	24
チェコ	CZ	10	スウェーデン	SE	42	アルゼンチン	AR	23
オーストリア	AT	8	ウクライナ	UA	40	スイス	CH	23
ポーランド	PL	8	フィンランド	FI	37	ウクライナ	UA	23
	不明	4	スイス	CH	30	オーストリア	AT	20
インドネシア	ID	3	シンガポール	SG	28	ベトナム	VN	16
インド	IN	3	イスラエル	IL	27	チェコ	CZ	15
グルジア	GE	1	ケニア	KE	25	ポーランド	PL	15
ルーマニア	RO	1	モンゴル	MN	17	ルーマニア	RO	15
タイ	TH	1	ラトビア	LV	16	メキシコ	MX	14
			ニュージーランド	NZ	16	インド	IN	2
			イラン	IR	12	フィリピン	PH	2
			ボツワナ	BW	1	エクアドル	EC	1
			コートジボアール	CI	1	イラン	IR	1
			チェコ	CZ	1	モザンビーク	MZ	1
			ルーマニア	RO	1		不明	1
			スロバキア	SK	1			

古事類苑DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	89,200	日本	JP	139,752	日本	JP	126,390
(館内)	local	20,597	(館内)	local	24,455	(館内)	local	24,598
大韓民国	KR	5,191	大韓民国	KR	8,793	大韓民国	KR	6,168
中国	CN	2,818	中国	CN	4,775	アメリカ合衆国	US	4,706
アメリカ合衆国	US	2,371	アメリカ合衆国	US	3,775	中国	CN	2,645
台湾	TW	650	台湾	TW	1,474	台湾	TW	1,260
マレーシア	MY	123	ドイツ	DE	544	香港	HK	432
フランス	FR	115	フランス	FR	169	スペイン	ES	148
ドイツ	DE	106	オランダ	NL	120	ポーランド	PL	102
オランダ	NL	104	オーストラリア	AU	91	フランス	FR	101
香港	HK	54	スペイン	ES	88	ドイツ	DE	90
ニュージーランド	NZ	51	ロシア連邦	RU	80	イギリス	GB	80
シンガポール	SG	42	香港	HK	67	フィンランド	FI	79
ブラジル	BR	39	イギリス	GB	60	チェコ	CZ	74
イギリス	GB	38	イタリア	IT	43	デンマーク	DK	50
スロバキア	SK	38	カナダ	CA	41	オランダ	NL	41
ベトナム	VN	32	マレーシア	MY	39	イタリア	IT	36
ベルギー	BE	31	ベルギー	BE	28	オーストラリア	AU	35
ハンガリー	HU	29	フィンランド	FI	28	カナダ	CA	34
イタリア	IT	28	シンガポール	SG	26	スイス	CH	30
ロシア連邦	RU	20	ニュージーランド	NZ	24	ブラジル	BR	25
	不明	5	アイルランド	IE	23	ウクライナ	UA	23

カナダ	CA	1		不明	11	ウルグアイ	UY	16
ルクセンブルク	LU	1	ポーランド	PL	4	マカオ	MO	12
ウクライナ	UA	1	トルコ	TR	4	ロシア連邦	RU	11
			ノルウェー	NO	2	スウェーデン	SE	8
			ギリシャ	GR	1	マレーシア	MY	6
			スロバキア	SK	1	ハンガリー	HU	5
						ノルウェー	NO	2
							不明	1

古典学統合DB（地下家伝・芳賀人名辞典）

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	36,704	日本	JP	32,505	日本	JP	27,120
アメリカ合衆国	US	2,182	（館内）	local	5,646	（館内）	local	3,000
（館内）	local	1,528	アメリカ合衆国	US	2,538	アメリカ合衆国	US	2,667
中国	CN	415	中国	CN	2,475	中国	CN	464
大韓民国	KR	181	大韓民国	KR	205	大韓民国	KR	353
オランダ	NL	104	ロシア連邦	RU	186	イギリス	GB	59
香港	HK	45	台湾	TW	145	ブラジル	BR	45
イタリア	IT	37	オランダ	NL	56	ドイツ	DE	37
ドイツ	DE	26	イタリア	IT	51	イタリア	IT	34
イギリス	GB	21	バングラデシュ	BD	32	台湾	TW	31
オーストラリア	AU	20	香港	HK	27	香港	HK	26
ベルギー	BE	18	イギリス	GB	21	オーストラリア	AU	24
ロシア連邦	RU	15	デンマーク	DK	20	デンマーク	DK	24
台湾	TW	14	ウクライナ	UA	15	フランス	FR	18
ポーランド	PL	8	ドイツ	DE	14	オランダ	NL	12
フランス	FR	6	フランス	FR	14	ボリビア	BO	7
カナダ	CA	3	オーストリア	AT	4	カナダ	CA	4
グルジア	GE	3	オーストラリア	AU	4	ロシア連邦	RU	4
スウェーデン	SE	2	ブルガリア	BG	3	ハンガリー	HU	3
ウクライナ	UA	1	ポルトガル	PT	3	チェコ	CZ	2
			カナダ	CA	2	ウクライナ	UA	2
			スウェーデン	SE	2	モロッコ	MA	1

史料情報共有化DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	306,917	日本	JP	344,227	日本	JP	309,600
アメリカ合衆国	US	135,316	アメリカ合衆国	US	96,113	アメリカ合衆国	US	149,861
（館内）	local	23,043	中国	CN	70,396	（館内）	local	6,817
中国	CN	3,870	（館内）	local	8,960	ロシア連邦	RU	1,854
オランダ	NL	3,415	ロシア連邦	RU	1,619	カナダ	CA	1,145
香港	HK	1,891	オランダ	NL	1,422	中国	CN	1,113
大韓民国	KR	697	フランス	FR	1,395	フランス	FR	1,031
ドイツ	DE	433	大韓民国	KR	850	大韓民国	KR	536
フランス	FR	258	イギリス	GB	572	台湾	TW	395
イギリス	GB	236	台湾	TW	463	タイ	TH	317
台湾	TW	215	ドイツ	DE	312	イギリス	GB	286
カナダ	CA	174	オーストラリア	AU	285	香港	HK	219
タイ	TH	123	カナダ	CA	148	ドイツ	DE	178
アイルランド	IE	70	タイ	TH	131	イタリア	IT	156
ウクライナ	UA	66	フィンランド	FI	83	オーストラリア	AU	64
マレーシア	MY	59	シンガポール	SG	79	ベトナム	VN	63
トルコ	TR	49	ブラジル	BR	67	シンガポール	SG	62
ポーランド	PL	43	スウェーデン	SE	54	ブラジル	BR	56
マラウイ	MW	40	香港	HK	51	スペイン	ES	56
オーストラリア	AU	39	ポーランド	PL	45	インド	IN	48
シンガポール	SG	35	ベルギー	BE	37	ポーランド	PL	35
ベルギー	BE	33	アイルランド	IE	34	オーストリア	AT	31
ニュージーランド	NZ	31	インドネシア	ID	32	ボリビア	BO	27
	不明	31	ウクライナ	UA	32	フィリピン	PH	27
チェコ	CZ	27	マレーシア	MY	29	オランダ	NL	26
オーストリア	AT	26	トルコ	TR	25	エストニア	EE	17
ブラジル	BR	26	モンゴル	MN	20	リトアニア	LT	17
スウェーデン	SE	24	フィリピン	PH	18	カンボジア	KH	15
ロシア連邦	RU	23	ミャンマー	MM	17	ニュージーランド	NZ	15
フィンランド	FI	19	スイス	CH	16	フィンランド	FI	14
イタリア	IT	18	ウルグアイ	UY	16	ウクライナ	UA	6
ブルガリア	BG	14	バングラデシュ	BD	15	南アフリカ共和国	ZA	5

フィリピン	PH	14	エストニア	EE	15		不明	4
ウルグアイ	UY	13	ノルウェー	NO	15	スイス	CH	2
ベラルーシ	BY	2	グアム	GU	13	アイルランド	IE	2
インドネシア	ID	2	ポルトガル	PT	13	ノルウェー	NO	2
リトアニア	LT	2	セイシェル	SC	11	英領バージン諸島	VG	2
ヨーロッパ連合	EU	1		不明	9	デンマーク	DK	1
モルドバ	MD	1	スペイン	ES	5			
メキシコ	MX	1	ヨーロッパ連合	EU	4			
			リトアニア	LT	4			
			パラグアイ	PY	4			
			デンマーク	DK	3			
			ハンガリー	HU	3			
			イラク	IQ	3			
			アルメニア	AM	2			
			コロンビア	CO	2			
			チェコ	CZ	2			
			エクアドル	EC	2			
			イスラエル	IL	2			
			カザフスタン	KZ	2			
			モルドバ	MD	2			
			ベネズエラ	VE	2			
			ベトナム	VN	1			

古筆切所収情報DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	20,128	日本	JP	19,895	日本	JP	16,476
(館内)	local	1,825	(館内)	local	1,839	アメリカ合衆国	US	1,282
アメリカ合衆国	US	623	アメリカ合衆国	US	1,046	(館内)	local	1,241
中国	CN	147	中国	CN	75	中国	CN	147
オランダ	NL	147	フランス	FR	62	台湾	TW	22
大韓民国	KR	84	台湾	TW	37	カナダ	CA	18
イタリア	IT	31	オランダ	NL	29	マレーシア	MY	17
フランス	FR	16	ロシア連邦	RU	22	ベトナム	VN	16
ロシア連邦	RU	11	イギリス	GB	21	香港	HK	15
香港	HK	9	香港	HK	14	フランス	FR	8
ベルギー	BE	2	大韓民国	KR	14	ドイツ	DE	6
ドイツ	DE	2	ドイツ	DE	4	イタリア	IT	2
グルジア	GE	1		不明	2	ロシア連邦	RU	2

アーカイブズ学文献DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	7,813	日本	JP	8,367	日本	JP	6,877
アメリカ合衆国	US	2,711	アメリカ合衆国	US	3,492	アメリカ合衆国	US	2,288
(館内)	local	1,608	(館内)	local	2,051	(館内)	local	1,696
中国	CN	127	中国	CN	134	中国	CN	56
オランダ	NL	121	大韓民国	KR	121	大韓民国	KR	50
フランス	FR	16	フランス	FR	29	台湾	TW	38
ドイツ	DE	7	インド	IN	16	イギリス	GB	29
ウクライナ	UA	7	ロシア連邦	RU	14	フランス	FR	26
ロシア連邦	RU	6	オランダ	NL	10	ブラジル	BR	17
香港	HK	3	ドイツ	DE	4	オーストラリア	AU	16
ベルギー	BE	2	アイルランド	IE	2	カナダ	CA	16
大韓民国	KR	2	トルコ	TR	2	香港	HK	12
			チェコ	CZ	1	ドイツ	DE	4
						ロシア連邦	RU	1

館蔵神社明細帳DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	10,175	日本	JP	10,420	日本	JP	10,969
(館内)	local	1,319	アメリカ合衆国	US	1,918	アメリカ合衆国	US	1,378
アメリカ合衆国	US	1,208	(館内)	local	1,071	(館内)	local	829
オランダ	NL	93	中国	CN	145	中国	CN	143
ロシア連邦	RU	48	香港	HK	48	香港	HK	17
中国	CN	44	ドイツ	DE	45	大韓民国	KR	15
カナダ	CA	27	台湾	TW	32	ドイツ	DE	13
マレーシア	MY	19	ロシア連邦	RU	22	イタリア	IT	13

香港	HK	16	オランダ	NL	18	台湾	TW	13
台湾	TW	16	バングラデシュ	BD	10	フィンランド	FI	11
大韓民国	KR	11	フランス	FR	7	フランス	FR	5
シンガポール	SG	11	カナダ	CA	4	カナダ	CA	4
ドイツ	DE	8	大韓民国	KR	3	ロシア連邦	RU	4
ベルギー	BE	2	ヨーロッパ連合	EU	1	ウクライナ	UA	1
フランス	FR	1	イギリス	GB	1			
			イタリア	IT	1			

史料所在情報DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	12,936	日本	JP	12,678	日本	JP	8,617
（館内）	local	8,575	（館内）	local	12,458	（館内）	local	4,333
アメリカ合衆国	US	273	アメリカ合衆国	US	501	アメリカ合衆国	US	384
オランダ	NL	198	中国	CN	138	中国	CN	136
中国	CN	44	大韓民国	KR	53	台湾	TW	60
香港	HK	37	イギリス	GB	52	ブラジル	BR	22
ベルギー	BE	22	台湾	TW	50	イギリス	GB	22
大韓民国	KR	22	オランダ	NL	49	大韓民国	KR	22
イギリス	GB	15	ロシア連邦	RU	20	フランス	FR	17
ロシア連邦	RU	15	フランス	FR	10	ドイツ	DE	10
ドイツ	DE	7	ドイツ	DE	9	香港	HK	8
			香港	HK	2	ポーランド	PL	2
						ロシア連邦	RU	2
						カナダ	CA	1
						イタリア	IT	1

蔵書印DB

平成25年度			平成26年度			平成27年度		
国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数	国／地域名	国コード	アクセス数
日本	JP	120,129	日本	JP	114,754	日本	JP	118,339
（館内）	local	18,288	（館内）	local	16,891	（館内）	local	11,577
アメリカ合衆国	US	10,018	アメリカ合衆国	US	14,397	アメリカ合衆国	US	5,445
中国	CN	1,312	中国	CN	2,665	中国	CN	4,798
イタリア	IT	1,029	大韓民国	KR	1,491	大韓民国	KR	1,069
イギリス	GB	590	イギリス	GB	623	台湾	TW	603
フランス	FR	576	ドイツ	DE	241	イギリス	GB	487
大韓民国	KR	523	台湾	TW	225	フランス	FR	283
台湾	TW	300		不明	210	ドイツ	DE	192
	不明	297	フランス	FR	165	香港	HK	100
ドイツ	DE	222	オランダ	NL	129		不明	93
ニュージーランド	NZ	61	ニュージーランド	NZ	116	カナダ	CA	56
香港	HK	60	アイルランド	IE	70	フィンランド	FI	55
ベルギー	BE	42	ロシア連邦	RU	63	ベルギー	BE	40
ロシア連邦	RU	37	カナダ	CA	43	ベトナム	VN	32
オーストラリア	AU	36	スロバキア	SK	43	クロアチア	HR	20
チェコ	CZ	32	フィンランド	FI	38	オランダ	NL	20
アイルランド	IE	25	オーストラリア	AU	26	シンガポール	SG	20
インド	IN	25	香港	HK	18	アイルランド	IE	18
マレーシア	MY	20	モロッコ	MA	3	スイス	CH	17
メキシコ	MX	19	デンマーク	DK	2	イタリア	IT	17
デンマーク	DK	18	スウェーデン	SE	1	マレーシア	MY	17
ハンガリー	HU	17				スロバキア	SK	12
ベトナム	VN	15				ロシア連邦	RU	10
カナダ	CA	11				スウェーデン	SE	6
オランダ	NL	5				ウクライナ	UA	1
グルジア	GE	2						
シンガポール	SG	2						

人間文化研究機構国文学研究資料館外部評価委員会規程

平成１６年４月２０日
規 程 第 １ ４ 号
改正　平成１９年　９月１３日

（趣旨）
第１条　人間文化研究機構国文学研究資料館に、評価の客観性を保つことを目的に第三者による評価の検証を行うため、外部評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）
第２条　委員会は、評価委員会が付託する事項について、評価を行う。

（組織）
第３条　委員会は、５名以内の委員をもって組織する。
２　委員会に、重要事項を評価するため、館長が必要と認めるときは、臨時委員を置くことができる。
３　委員及び臨時委員は、当館の業務に関し識見を有する者のうちから、館長が委嘱する。

（任期）
第４条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
２　臨時委員の任期は、委嘱日からその者の任命に係る重要事項に関する評価が終了する日までとする。

（委員長及び副委員長）
第５条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。
２　副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

（招集）
第６条　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（会議）
第７条　委員会は、委員（議事に関係する臨時委員の数を含む）の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
２　議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委員以外の出席）
第８条　委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（庶務）
第９条　委員会の庶務は、管理部総務課において処理する。

（その他）
第10条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附　則
１．この規程は、平成１６年４月１日から施行する。

２．この規程の施行後において、最初の委員に係る任期は、第４条の規定にかかわらず、平成１８年3月３１日までとする。

附　則

この規程は、平成１６年１０月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１９年９月１３日から施行する。